

## 事業計画書目次

【保土ヶ谷区】

3款 2項 1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	区総合調整事業	1,000	1,000	2,000	2,000	△ 1,000	△ 1,000	
2	「利用しやすい区役所」推進事業	6,200	6,200	8,545	8,545	△ 2,345	△ 2,345	
3	窓口サービス向上事業	702	702	703	703	△ 1	△ 1	
4	広聴の区民協働事業	874	874	841	841	33	33	
5	広報推進事業	2,163	1,779	3,132	2,618	△ 969	△ 839	
6	歴史浪漫ほどがや事業	4,459	4,459	2,397	2,397	2,062	2,062	○
7	多文化共生まちづくり事業	845	845	3,090	3,090	△ 2,245	△ 2,245	
8	星川駅周辺の魅力づくり事業	3,280	3,280	3,150	3,150	130	130	
9	保土ヶ谷商工業支援事業	613	613	583	583	30	30	
10	ほどがやカーボンニュートラル推進事業	318	318	318	318	0	0	
11	地産地消推進事業	359	359	379	379	△ 20	△ 20	
12	ICT活用支援事業	1,585	1,585	1,305	1,305	280	280	
13	区制100周年に向けた地域活動プースター事業	3,400	3,400	0	0	3,400	3,400	○
14	ほどがや区民まつり	4,900	4,900	4,900	4,900	0	0	
15	自治会町内会支援事業	3,603	3,603	3,548	3,548	55	55	
16	国際文化理解事業	783	783	883	883	△ 100	△ 100	
17	花薫るきれいな街ほどがや事業	4,336	4,336	4,246	4,246	90	90	
18	災害対策推進事業 【20万区民の自助・共助による減災運動】	12,560	12,560	11,536	11,036	1,024	1,524	
19	保土ヶ谷区地域防犯力向上事業	5,615	5,606	5,697	5,688	△ 82	△ 82	
20	交通安全対策事業	3,340	3,340	3,643	3,643	△ 303	△ 303	

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
21	市民活動支援事業	4,211	4,211	4,211	4,211	0	0	
22	はぐくみプロジェクト	2,959	2,959	3,162	3,162	△ 203	△ 203	
23	読書活動推進事業	860	860	660	660	200	200	
24	保土ヶ谷芸術の街	2,632	2,632	2,727	2,727	△ 95	△ 95	
25	スポーツの街ほどがや推進事業	3,034	3,034	3,612	3,612	△ 578	△ 578	
26	がやっこ育成事業	2,260	2,260	1,812	1,812	448	448	
27	地域が見守る子どもたちの放課後事業	1,040	1,040	3,064	3,064	△ 2,024	△ 2,024	
28	ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート	4,960	4,960	5,126	5,126	△ 166	△ 166	○
29	ほどがやhappy子育て～保育所による妊娠期・未就学児支援事業	911	911	1,078	1,078	△ 167	△ 167	
30	こどもを守ろう！地域子育てつながり事業	1,940	1,940	1,698	1,698	242	242	
31	ほどがや歯っぴいHealth事業	1,400	1,400	1,400	1,400	0	0	
32	ほどがや元気づくり事業	4,853	4,853	4,853	4,853	0	0	○
33	輝けシニア！2025事業	1,658	1,658	899	899	759	759	○
34	保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業	355	355	615	615	△ 260	△ 260	
35	障害者地域支えあい連携推進事業	1,668	1,668	1,301	1,301	367	367	
36	ほどがや花のおもてなし事業	1,100	1,100	1,030	1,030	70	70	
37	暮らしの衛生サポート事業	925	925	988	988	△ 63	△ 63	
38	保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業	1,193	1,193	1,300	1,300	△ 107	△ 107	
39	地域見守り推進事業	2,165	2,165	1,250	1,250	915	915	
	計	101,059	100,666	101,682	100,659	△ 623	7	

事業区課	保土ヶ谷 区		総務 課		新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	区総合調整事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,000	0	0	0		1,000
令和3年度	2,000	0	0	0		2,000
増△減	△ 1,000	0	0	0	0	△ 1,000

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
市債+一般財源	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
決 算 事業費	2,590	636	4,282			
市債+一般財源	2,590	636	4,282			

事業概要	保土ヶ谷区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、予算編成時に想定していなかった緊急的・突発的な課題に対して、柔軟に対応します。						
事業開始年度	平成12年度						
根拠法令・方針決裁等							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた組織運営「信頼される区役所づくり」						

事業目的・効果 (必要性)	保土ヶ谷区では、区民の皆様の暮らしの安全・安心を確保するとともに、誰もが健やかに暮らせるまちづくりを進めるため、地域課題やニーズを踏まえて各種事業を立案・展開しています。 社会情勢の変化等により、予算編成後に緊急的・突発的な課題が生じることもあり、限られた予算の中で必要性や重要性を鑑みて、課題への速やかな対応・解決が必要となっています。						
根拠・データ等	【緊急的課題への対応状況】 平成29年度：イコットハウス改修委託ほか 平成30年度：こどもの遊び場改修委託ほか 平成31（令和元）年度：新型コロナウイルス感染症対策消耗品の購入ほか 令和2年度：新型コロナウイルス感染症対策消耗品の購入ほか						

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
-	単位	目標	-	-	-	-	-	-	-
	-	実績	-	-	/	/	/	/	/
	単位	目標							
		実績			/	/	/	/	/
	単位	目標							
		実績			/	/	/	/	/

事業スケジュール	緊急的な課題への対応（通年・随時対応）						
----------	---------------------	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	緊急対応経費	1,000	2,000	▲ 1,000	見込額精査による減
	細事業合計	1,000	2,000	▲ 1,000		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 中山 陽子	係長 多賀谷 亜希	予算調整係 梶原 茉莉子
--------------------	-------------	--------------	-----------------

事業区課	保土ヶ谷 区		総務 課		新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	「利用しやすい区役所」推進事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,200	0	0	0		6,200
令和3年度	8,545	0	0	0		8,545
増△減	△ 2,345	0	0	0	0	△ 2,345

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	13,128	9,603	10,022	10,000	10,000	10,000
算 市債+一般財源	13,128	9,603	10,022	10,000	10,000	10,000
決 事業費	16,208	13,328	20,640			
算 市債+一般財源	16,208	13,328	20,640			

事業概要	区民の皆様が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設的环境を整備・改善し、区民サービスを向上します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた組織運営 信頼される区役所づくり							
事業目的・効果 (必要性)	区庁舎をはじめ区内の区民利用施設には、日々多くのお客様が来庁されます。建物の老朽化や狭あい化が進んでいる中、安心して快適に利用できる施設環境の整備・改善を推進することにより、「利用しやすい区役所」を目指し、区民や来庁者、利用者の満足度を高めることを目的としています。また、区庁舎等のデジタル化を推進し、WEB会議等の新しい生活様式への対応を推進します。							
根拠・データ等	<b>【区庁舎等環境改善・デジタル化推進実施状況】</b> 平成30年度：区役所本館2階レイアウト変更、瀬戸ヶ谷スポーツ会館トイレ改修 平成31（令和元）年度：区役所本館3階レイアウト変更、ほどがや地区センター別館トイレ改修 令和2年度：新型コロナウイルス感染症対策として執務室・待合室の密の改善・換気の向上等に係る改修等 区役所本館公衆無線LAN導入、Web会議導入							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
窓口サービス 満足度調査	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	97.7	実施見送り				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	区庁舎等環境改善・デジタル化推進実施（通年・随時対応）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区庁舎等環境改善事業	5,450	7,605	▲ 2,155	見込額精査による減
②	行政のデジタル化推進事業	750	940	▲ 190	見込額精査による減	
細事業合計		6,200	8,545	▲ 2,345		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	中山 陽子	多賀谷 亜希	梶原 茉莉子

事業区課	保土ヶ谷 区		総務 課			新規拡充 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	窓口サービス向上事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	702	0	0	0			702
令和3年度	703	0	0	0			703
増△減	△ 1	0	0	0	0	0	△ 1

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	724	683	683	702	702	702
市債＋一般財源	724	683	683	702	702	702
決 算 事業費	528	767	498			
市債＋一般財源	528	767	498			

事業概要	職員一人ひとりが区民の皆さまに寄り添い、丁寧で迅速なサービスの提供を行うことができるよう、応対マナーや人権感覚の向上を図ります。また、庁内連携を進め、環境整備や業務改善に取り組みます。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市区役所窓口サービス標準、横浜市職員人権啓発推進要綱、保土ヶ谷区改革推進委員会設置要綱							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 ◆信頼される区役所づくり							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口対応研修などを通じて職員の対応スキルの見直し・改善を行います。</li> <li>・人権啓発研修を実施し、全ての職員の人権感覚を高めます。</li> <li>・改革推進委員会の取組を通じて、業務や庁舎の課題解決に取り組み、CS・ESの向上を目指します。</li> </ul>							
根拠・データ等	横浜市区役所窓口サービス標準、横浜市職員人権啓発推進要綱、保土ヶ谷区改革推進委員会設置要綱(根拠法令) 窓口外部評価、職員満足度調査(データ等)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
職員研修参加人数	単位	目標	120	70	80	80	80	80
	人	実績	120	76				
人権啓発研修(責任職グループ研修実施回数(10G))	単位	目標	40	40	40	40	40	40
	回	実績	40	40				
改革推進委員会(プロジェクト数)	単位	目標	3	3	3	3	3	3
		実績	3	3				
事業スケジュール	①職員研修 新採用・転入者向け窓口対応研修(5月から6月) CS向上研修(10月から12月) 職員Ⅲ向け研修(11~12月) ②人権啓発研修 責任職全体研修(5月) ③改革推進委員会 新採用PJ(通年) 課横断PJ(通年) 各課PJ(通年)							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	職員研修	283	283	0	
	②	人権啓発研修	304	305	▲ 1	実施方法の見直しによる減
	③	改革推進委員会	115	115	0	
細事業合計			702	703	▲ 1	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	中山 陽子	係長	永井 俊雄	総務課庶務	係	杉本 直紀

事業区課	保土ケ谷 区	区政推進 課			新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	広聴の区民協働事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	874	0	0	0		874
令和3年度	841	0	0	0		841
増△減	33	0	0	0	0	33

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	1,056	599	832	910	910	910
市債＋一般財源	1,056	480	832	910	910	910
決 算 事業費	1,034	583	627			
市債＋一般財源	1,034	583	627			

事業概要	「地域のつどい」「区民のつどい」開催等の区民会議活動を行うほか、区民会議活動を広く区民にお知らせする「ニュースやまびこ」を発行します。						
事業開始年度	平成6年度						
根拠法令・方針決裁等	保土ケ谷の「住み良いまちづくり活動」に関する協働契約						
運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 「つながり・支えあいの推進」「魅力あるまちづくり」						

事業目的・効果 (必要性)

区民会議は、区民相互が話し合いにより合意形成をし、「住みよい保土ケ谷」を実現させていく任意団体です。区民の意見要望を市・区政に反映させる有効な手段の一つであり、区民の区民会議活動に対する期待は大きなものがあります。区民が集まって地域課題を検討する「地域のつどい」は例年6会場で行い、令和元年度には延べ756人が参加しました（令和2年度はコロナ禍のため書面開催、3年度は中止）。平成28年度の区民会議との協働契約締結を受けて、住みよいまちづくりをより一層推進するために区民会議と区役所がさらに連携・協力していく必要があります。

根拠・データ等

保土ケ谷区の「住み良いまちづくり活動」に関する協働契約

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区民のつどい・地域のつどい実施回数	単位	目標	7	7	中止	7	7	7	7
	回	実績	7	対面開催中止					
広報物発行回数	単位	目標	11	10	11	10	11	10	11
	回	実績	11	9					
分科会	単位	目標	55	60	55	60	55	60	55
	回	実績	55	30					

事業スケジュール

6月 地域のつどい開催  
8月 提言・要望提出  
10月 回答書返戻  
11月 区民のつどい開催  
3月 全体会/総会開催

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	①	区民のつどい・地域のつどい		79	97	▲ 18
②	広報物発行		427	511	▲ 84	発行1回のため減
③	分科会活動		368	233	135	通信運搬費・印刷製本費の増
細事業合計			874	841	33	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	石川 巖道	木嶋 幹	南宮 由伊

事業区課	保土ヶ谷 区	区政推進 課				新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費							
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目		
事業名称	広報推進事業								

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,163	0	0	384		1,779
令和3年度	3,132	0	0	514		2,618
増△減	△ 969	0	0	△ 130	0	△ 839

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	1,722	1,597	726	3,715	2,163	3,715
	市債+一般財源	1,574	1,449	342	3,201	1,779	3,201
決 算	事業費	0	1,824	654			
	市債+一般財源	0	1,694	572			

事業概要	様々な広報手段を総合的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度 保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「信頼される区役所づくり」「魅力あるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>情報が進む中、より多くの方に区からの情報を届けるためには、ツイッターやインスタグラムのフォロワーを増やしていくことや、受け手に伝わりやすい説明・案内の技術やデザインスキルを職員が習得する必要があります。</p> <p>また、保土ヶ谷区への転入手続時、生活に必要な情報や区からのお知らせを漏れなくスムーズに提供する必要があります。</p>							
根拠・データ等								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区ホームページアクセス件数	単位	目標	1,550,000	1,600,000	2,100,000	2,150,000	2,200,000	2,200,000
	件	実績	1,687,399	2,053,784				
ツイッターフォロワー数	単位	目標	2,800	3,200	5,000	7,000	9,000	10,000
	人	実績	2,950	3,240				
インスタグラムフォロワー数	単位	目標	1,500	1,800	2,000	3,000	4,000	5,000
	人	実績	1,100	1,662				
事業スケジュール								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	転入者セット作成事業	234	234	0
②	デジタル媒体活用事業	1,562	1,007	555	SNS周知強化による増
③	ガイドマップ作成・発行事業	0	1,552	▲ 1,552	隔年発行による減
④	広報マインド向上事業	112	200	▲ 88	前年度実績による減
⑤	統計便覧作成事業	255	139	116	掲載内容等の見直しによる増
	細事業合計	2,163	3,132	▲ 969	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 石川 巖道	係長 木嶋 幹	広報相談 新宮 貴宏	係
--------------------	-------------	------------	---------------	---

事業区課	保土ヶ谷区	区政推進課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	歴史浪漫ほどがや事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,459	0	0	0		4,459
令和3年度	2,397	0	0	0		2,397
増△減	2,062	0	0	0	0	2,062

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予	事業費	2,035	2,719	2,667	4,500	4,500	4,500
算	市債+一般財源	2,035	2,719	2,667	4,500	4,500	4,500
決	事業費	1,788	2,541	2,842			
算	市債+一般財源	1,788	2,541	2,842			

事業概要	旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	なし							
運営方針等との関連	・令和3年度保土ヶ谷区運営方針目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>1 より多くの方に保土ヶ谷区の歴史的魅力を知っていただくことを目的に、案内や休憩所の充実や松並木の維持、沿道の商業施設との協働など、主に旧東海道を歩きやすくする取組を行います。</p> <p>2 保土ヶ谷区が「住み続けたいまち」となることを目的に、区の「地域遺産・資源」を活かし、区ならではの魅力をつくる取組を旧東海道をテーマに活動している市民団体等と行います。</p> <p>3 保土ヶ谷駅周辺のまちづくりを推進するため、保土ヶ谷駅周辺地区プラン等、各種計画の実施状況を踏まえ、現状の把握と課題を整理します。</p>							
根拠・データ等	<p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保土ヶ谷区歴史まちなみ基本構想～歴史を活かしたまちづくり～</li> <li>保土ヶ谷区まちづくり計画(都市計画マスタープラン区プラン)Ⅱまちづくりビジョン</li> <li>歴史関連イベントは、参加者の分布として高齢者がメインであったが、将来まちを担う次世代にも魅力を伝えていく必要性があるため、令和元年度から若年層への取組(浮世絵体験講座、など解き!ほどがやアドベンチャー)を開始しています。</li> <li>旧東海道をテーマに活動している市民団体が多数あり活動も活発で、「歴史の道東海道に所在する個人および団体に対して、東海道および宿場の保存伝承に関する事業を行い、地域の活性化に寄与すること」を目的とする「特定非営利活動法人 歴史の道東海道宿駅会議」の東京・神奈川ブロック代表を務める区民がいるため、行政の立場から協働を行っていく必要があります。</li> <li>区内には区政推進課所有のまちのサイン(13箇所)、緑の軸(40箇所)、歴史サイン(37箇所)があり、維持管理とともに段階的に修繕、再設置を行う必要があります。</li> </ul> <p>【まちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」</li> <li>保土ヶ谷区まちづくり計画(横浜市都市計画マスタープラン保土ヶ谷区プラン)Ⅲまちづくりの方針</li> <li>保土ヶ谷駅周辺地区プラン(横浜市都市計画マスタープラン)2まちづくりの目標と方針</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
イベント実施回数	単位	目標	3	3	3	2	2	2
	回	実績	2(区民まつり中止による減)		2(区民まつり中止による減)			
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>令和元年度 区民との協働による旧東海道(保土ヶ谷宿)プロモーション、保土ヶ谷歴史まちあるき、若年層に向けた浮世絵講座の開催、まちの魅力発信拠点運営</p> <p>令和2年度 区民との協働による旧東海道(保土ヶ谷宿)プロモーション、まちあるきパンフ内容修正および増刷、保土ヶ谷歴史まちあるき、まちの魅力発信拠点運営</p> <p>令和3年度 区民との協働による旧東海道(保土ヶ谷宿)プロモーション、保土ヶ谷歴史まちあるき、若年層に向けた謎解きイベントの開催、まちの魅力発信拠点運営</p> <p>令和4年度 区民との協働による旧東海道(保土ヶ谷宿)プロモーション、保土ヶ谷歴史まちあるき、若年層に向けイベントの開催、まちの魅力発信拠点運営</p> <p>保土ヶ谷駅周辺のまちづくりに関する調査検討</p> <p>各種計画の実施状況調査、現状・課題等の整理</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	歩きやすい街道づくり事業				なし
②	沿道魅力アップ事業				実行額による増(委託費における修繕費等)	
③	まちづくりに関する調査検討事業				新規事業による増	
細事業合計			4,459	2,397	2,062	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整
	石川 巖道	廣澤 美津江	係 遊亀 佳孝



事業区課	保土ヶ谷 区	区政推進 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	多文化共生まちづくり事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	845	0	0	0		845
令和3年度	3,090	0	0	0		3,090
増△減	△ 2,245	0	0	0	0	△ 2,245

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	0	571	665	845	845	845
	市債+一般財源	0	571	665	845	845	845
決算	事業費	0	222	339			
	市債+一般財源	0	222	339			

事業概要	外国人と日本人が相互理解を深め、ともに地域の一員として安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくために必要な事業を実施します。						
事業開始年度	令和元年度						
根拠法令・方針決裁等	横浜市多文化共生まちづくり指針						
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 魅力あるまちづくり						

事業目的・効果 (必要性)	保土ヶ谷区には5,457人(令和3年6月末現在)の外国人が生活しています。近年、外国人人口の増加率も上昇しており、今後の外国人人口の増加が予想されるため、外国人が抱える課題を把握し、対応していく必要があります。区内唯一の大学である横浜国立大学には、世界69ヶ国・地域から836名の留学生在が在籍しており、全学生のうち留学生在が占める割合は約10%と大変高い比率となっています(令和3年5月現在)。留學生も地域の一員として活躍できる地域社会をつくる必要があります。						
根拠・データ等	市統計情報(人口、外国人人口)						

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
多文化共生まちづくり計画	単位	目標	令和2年度より実施	計画策定に向けた準備	計画策定	計画を踏まえた事業の推進	計画を踏まえた事業の推進	計画を踏まえた事業の推進	計画を踏まえた事業の推進
	-	実績	令和2年度より実施	委託契約締結					
区HPで文化紹介をした留学生の人数	単位	目標	令和2年度より実施	20	10	10	10	10	10
	人	実績	令和2年度より実施	20					
地域交流イベントの回数	単位	目標	5	3	3	3	3	3	3
	回	実績	5	2(区民まつり中止による減)					

事業スケジュール	令和元年度	地域主催の伝統行事への参加(納涼盆踊り大会、昔あそびのつどい)、留学生による自国文化の紹介(ほどがや花フェスタ、ほどがや区民まつり、ほどがや国際フェスタへの出展)
	令和2年度	区民ギャラリーでの物品展示、ほどがや国際フェスタへのパネル展示、区ホームページへの自国の文化紹介記事の掲載
	令和3年度	ほどがや国際フェスタへのパネル展示、区ホームページへの自国の文化紹介記事の掲載、ほどがや区民まつり
	令和4年度	ほどがや国際フェスタへのパネル展示、区ホームページへの自国の文化紹介記事の掲載、ほどがや区民まつり

(単位：千円)

細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	多文化共生事業の推進	500	0	500	計画策定に伴う新規取組実施による増
②	横浜国立大学留学生との連携	345	545	▲ 200	事業実施方法の見直しによる減
③	多文化共生のあり方検討	0	2,545	▲ 2,545	計画策定完了による減
細事業合計		845	3,090	▲ 2,245	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整	係
	石川 巖道	安達 理恵	榎田 佳那子	

事業区課	保土ケ谷 区	区政推進 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	星川駅周辺の魅力づくり							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,280	0	0	0		3,280
令和3年度	3,150	0	0	0		3,150
増△減	130	0	0	0	0	130

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費			5,000	1,000	1,000	1,000
市債+一般財源			5,000	1,000	1,000	1,000
決 算 事業費			5,000			
市債+一般財源			5,000			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度から利用可能となる星川駅高架下空間やその周辺において、駅周辺の歴史を取り入れた検討を行う。</li> <li>地区の歴史を生かし、魅力向上を図るため、星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドラインにおける利便性が高く魅力あふれるまちの推進のための取組を実施。</li> <li>多文化共生や地域交流を進め、区心部にふさわしい機能強化を図る。</li> </ul>
------	---

事業開始年度	令和2年度
--------	-------

根拠法令・方針決裁等	なし
------------	----

運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」
-----------	-------------------------------------

事業目的・効果 (必要性)	<ol style="list-style-type: none"> <li>区内・区外からの来街者など、より多くの方々に地区の魅力を発信していく必要がある。</li> <li>旧東海道を地域資源として生かしたまちづくりの他に、新たな地域資源の発掘、魅力の発信についても進める必要がある。</li> <li>星川駅周辺地区の中心に位置する高架下空間を、駅周辺の区役所等の公共施設と連携し活用することで区心部の機能強化を図る必要がある。</li> </ol>
---------------	--

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>保土ケ谷区まちづくり計画（都市計画マスタープラン区プラン）Ⅲまちづくりの方針</li> <li>保土ケ谷区バリアフリー基本構想</li> <li>星川駅周辺は、相鉄鉄道本線（星川～天王町駅間）連続立体交差事業により、鉄道の高架化や周辺道路整備および駅南口交通広場等が整備されるなどまちの姿が大きく変化しようとしています。この機会をとらえ星川駅周辺の魅力向上を推進するため、まちづくりの基本的な考え方を整理したガイドラインを策定しました。</li> <li>また、ガイドラインに掲げる「利便性が高く魅力あふれるまちづくり」を推進するため、相鉄グループと「星川駅周辺等の魅力づくり基本協定書」を令和2年度に締結し、協働事業による取組を進めています。</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>星川駅周辺等の魅力や未来を話し合うオンラインワークショップの開催</li> <li>周辺施設・運営者との意見交換会</li> <li>近隣小学校での出張授業、星川駅・天王町駅自由通路での絵の展示</li> <li>魅力PR動画の作成（短編30秒、長編90秒）</li> </ol>
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
協働事業による取組	単位	目標	令和2年度より実施	4	3	3	1	1	1
	案	実績	令和2年度より実施	4					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	<p>平成31年度 星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドラインの検討、ガイドライン懇談会の開催</p> <p>令和2年度 星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドラインの策定、星川駅周辺等の魅力づくり基本協定書締結、星川駅周辺等の魅力づくりに関する協働契約の締結</p> <p>令和3年度 星川天王町保土ケ谷駅周辺地区街づくり協議指針の改正、星川駅周辺等の魅力づくりに関する協働事業推進、高架下空間を活用した魅力発信、横浜市駐車場条例取扱基準の一部改正</p> <p>令和4年度 星川駅周辺等の魅力づくりに関する協働事業推進、高架下等オープンによる啓発等</p>
----------	---

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	①	星川駅高架下等を生かしたにぎわい創出事業	3,280	3,150	130	高架下オープンによる啓発費等の増
	細事業合計	3,280	3,150	130		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	石川 巖道	廣澤 美津江	小林 大樹

事業区課	保土ケ谷 区	地域振興 課			新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	保土ケ谷商工業支援事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	613	0	0	0		613
令和3年度	583	0	0	0		583
増△減	30	0	0	0	0	30

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	708	668	578	613	613	613
市債＋一般財源	708	668	578	613	613	613
決 算 事業費	322	972	239			
市債＋一般財源	322	972	239			

事業概要	地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら、商店街の活性化を支援します。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行っています。						
事業開始年度	平成25年度						
根拠法令・方針決裁等	横浜市商店街の活性化に関する条例、横浜市中企業振興基本条例						
運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針「魅力あるまちづくり」						

事業目的・効果 (必要性)	商店街は、地域コミュニティの一端を担っているところ、近年は全国的に利用者の減少が続くことで厳しい経営状況に置かれています。また、それに伴って区内商店会数も減少傾向にあります。地域全体の活性化につなげていくためにも、地域ぐるみで商店街の活性化を図る必要があります。 また、地域経済の活性化に向けては、区内製造業等の支援も同時に行っていく必要があります。						
根拠・データ等	<区商連加盟商店会数> 平成25年度：15団体 → 令和3年度：13団体 <区商連加盟店舗数> 平成25年度：698店舗 → 令和3年度：578店舗						

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区商連加盟商店会	単位	目標	13	13	13	13	13	13	13
	団体	実績	13.0	13.0					
区商連加盟店舗	単位	目標	未実施	未実施	578	578	578	578	578
	店舗	実績	未実施	未実施					
西部工業会区内会員数	単位	目標	未実施	未実施	33	33	33	33	33
	社	実績	未実施	未実施					

事業スケジュール	<区商連・横浜FC連携事業> 10～11月頃 応募期間 (Jリーグの日程による) <ほ도가やお弁当まつり事業> 1月以降 事業実施 <ほ도가や商店街元氣市事業> 5月 花フェスタ、10月 区民まつり						
----------	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区商連・横浜FC連携事業	300	300	0	
	②	ほ도가やお弁当まつり事業	200	0	200	新規事業による増
	③	ほ도가や商店街元氣市事業	113	283	▲170	設営委託を要する出店形式の廃止による減
細事業合計		613	583	30		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	椎葉 秀幸	松坂 純伸	小粥 亮典

事業区課	保土ヶ谷 区	区政推進 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般 会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	ほ도가やカーボンニュートラル推進事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	318	0	0	0		318
令和3年度	318	0	0	0		318
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	1,030	2,671	318	318	318	318
市債+一般財源	1,030	2,671	318	318	318	318
決 算 事業費	724	1,956	178			
市債+一般財源	724	1,956	178			

事業概要	横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年度までに22%、2030年度までに30%、2050年度までに80%以上削減（2013年度比）」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行います。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策 ◆暮らしの安全・安心の確保 生活の安全・安心							
事業目的・効果 (必要性)	パリ協定・SDGs採択後の世界の潮流や、国の地球温暖化対策計画・適応計画の策定、気候変動の影響等を踏まえ、横浜市では、横浜市地球温暖化対策実行計画に基づき、温暖化対策（緩和策・適応策）・エネルギー施策の更なる強化に取り組んでいます。また、区においても市の計画に基づいた温室効果ガス削減への取組推進を行っています。 本市は家庭部門からの二酸化炭素排出量の割合が大きい（横浜市：24.8%、全国：14.4%）ため、幅広い層への情報提供と啓発を進め、区民一人ひとりの温暖化対策行動を促進する必要があります。また、区民への普及啓発をより広げていくため、区民、事業者、行政の協働による環境保全に向けた実践行動の普及啓発等を活性化させる必要があります。							
根拠・データ等	横浜市温室効果ガス排出量 令和元年度（速報値）							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
啓発講座やイベントの実施回数	単位	目標	4	2	2	2	2	2
	回	実績	4	0（イベント形式の変更に より減）				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和元年度 啓発講座・イベントの実施（花フェスタへの出展、小学生向け環境講座、環境にやさしい施設見学会、オリパラ機運醸成に関連したエコイベント）、SNSを活用した普及啓発、「ヨコハマ3R夢」と連携した取組 令和2年度 区ヘルスメイトと連携した食品ロス削減チラシの作成、SNSを活用した普及啓発、「ヨコハマ3R夢」と連携した取組 令和3年度 若年層に向けた謎解きイベントの開催、SNSを活用した普及啓発、「ヨコハマ3R夢」と連携した取組 令和4年度 花フェスタへのブース出展、若年層を対象にしたイベントの開催、SNSを活用した普及啓発、「ヨコハマ3R夢」と連携した取組							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	講座実施・SNSを活用した啓発		318	318	0
	細事業合計		318	318	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整
	石川 巖道	安達 理恵	榎田 佳那子 係

事業区課	保土ヶ谷 区	区政推進 課			新規拡充 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費					
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	地産地消推進事業						

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	359	0	0	0		359
令和3年度	379	0	0	0		379
増△減	△ 20	0	0	0	0	△ 20

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算 事業費	320	450	408	369	369	369
市債+一般財源	320	450	408	369	369	369
決算 事業費	335	385	314			
市債+一般財源	335	385	314			

事業概要	農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めます。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 魅力あるまちづくり							
事業目的・効果 (必要性)	区内各所で多くの農家が種々の作物を生産し、また、JA支店をはじめ直売所も多く存在しているが、区北西部に集中し、必ずしも区民全体に周知されてはおりません。そのため、区内直売所の周知や区役所前、ごうどいち、保土ヶ谷公園などで開催されている朝市での野菜販売などを通じて、ほ도가や産野菜の存在を引き続き周知する必要があり、花フェスタ、区民まつりや区役所前の朝市で地産地消の取組のPRをさらに強化することが課題となっています。特に、若年層を含めた幅広い年代への働きかけが必要と感じています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜都市農業推進プラン（2019-2023）</li> <li>計画の柱1「持続できる都市農業の推進」、計画の柱2「市民が身近に農を感じる場をつくる」</li> <li>横浜の農業～概要・施設のあゆみ・農業統計ほか～</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ほ도가や朝市 1回あたりの 来場者数	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	人	実績	64	74				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度：ほ도가や朝市の開催、花フェスタ・区民まつりで野菜種の配布</li> <li>令和2年度：ほ도가や朝市の開催</li> <li>令和3年度：ほ도가や朝市の開催</li> <li>令和4年度：ほ도가や朝市の開催、花フェスタ・区民まつりで野菜種の配布</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ほ도가や朝市事業	180	180	0	
	②	地産地消の推進事業	179	199	▲ 20	令和1～2年度実績に基づく減
細事業合計			359	379	▲ 20	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	石川 巖道	平野 千景	鈴木 涼太

事業区課	保土ヶ谷 区	区政推進 課			新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	ICT活用支援事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,585	0	0	0		1,585
令和3年度	1,305	0	0	0		1,305
増△減	280	0	0	0	0	280

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	0	0	0	985	985	985
市債+一般財源	0	0	0	985	985	985
決 算 事業費	0	0	0			
市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	新たな生活様式を踏まえ、ICTを活用した新たな地域の活動や交流が展開できるよう、地域活動におけるICTの活用を支援します。							
事業開始年度	令和3年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 つながり・支えあいの推進							
事業目的・効果 (必要性)	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや集まっての会議、対面での見守り、地域防災拠点の訓練など、地域や各団体においてこれまでどおりの地域活動が困難な状況となりました。そのような状況においても、ICTを活用した地域での活動や交流が展開できるよう、自治会町内会や市民活動団体等の各種団体等に対して、Web会議の開催方法等を学ぶ研修会の開催や、ICT活用に関するアドバイザーの派遣など、地域活動におけるICTの活用を支援していく必要があります。							
根拠・データ等	<実績推移>研修会参加者数 令和2年度54人、令和3年度60人(見込)、令和4年度60人(見込) <実績推移>アドバイザー派遣回数 令和2年度5回、令和3年度10回(見込)、令和4年度10回(見込) <実績推移>タブレット端末等配架施設数 令和3年度18施設(見込)、令和4年度18施設(見込)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
研修会	単位	目標		3	5	5	5	5
	回	実績						
アドバイザー派遣	単位	目標		10	10	10	10	10
	回	実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和2年度：ICT活用支援事業モデル実施 令和3年度：NPO法人と協力したICT活用の支援 令和4年度：NPO法人と協力したICT活用の支援							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	人材の発掘・育成事業	625	495	130	研修会の拡充による増
	②	環境整備事業	960	810	150	Wi-Fiリース台数の増
細事業合計			1,585	1,305	280	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	石川 巖道	安達 理恵	味蓼 悠我

事業区課	保土ヶ谷 区	区政推進 課			新規拡充	■ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	区制100周年に向けた地域活動ブースター事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	3,400	0	0	0			3,400
令和3年度	0	0	0	0			0
増△減	3,400	0	0	0	0	0	3,400

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	-	-	-	1,300	1,300	3,000						
市債+一般財源	-	-	-	1,300	1,300	3,000						
決 算 事業費	-	-	-									
市債+一般財源	-	-	-									

事業概要	「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、令和9年度を迎える区制100周年をきっかけとして、新たな活動の創出や機運醸成を行います。							
事業開始年度	令和4年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針「魅力あるまちづくり」「地域との協働の推進」							
事業目的・効果(必要性)	コロナ禍により停滞した様々な活動を再始動させるため、区制95周年を迎える令和4年度から「区制100周年」という機会を共通のテーマとして機運醸成を行い、地域活動が活性化するよう後押しします。							
根拠・データ等	各区の区制周年記念事業（令和元年度） ・50周年 港南区、旭区、緑区、瀬谷区 ・80周年 港北区、戸塚区							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区制100周年を見据えたイベント・企画実施数	単位	目標			6	8以上	8以上	8以上
	件数	実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和4年度 区制100周年に向けた、機運醸成イベントの企画・開催 令和7年度 区制100周年記念事業実行委員会立ち上げ 令和8年度 プレイベントの企画・開催 令和9年度 区制100周年記念式典・メインイベントの実施							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	新たな活動の創出	630	0	630	新規事業による増
	②	区関連イベントによる機運醸成	2,770	0	2,770	新規事業による増
細事業合計			3,400	0	3,400	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談 係
	石川 巖道	木嶋 幹	新宮 貴宏

事業区課	保土ケ谷 区	地域振興 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般 会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	ほ도가や区民まつり					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,900	0	0	0		4,900
令和3年度	4,900	0	0	0		4,900
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算 事業費	4,500	4,800	4,900	4,900	4,900	4,900
市債+一般財源	4,500	4,800	4,900	4,900	4,900	4,900
決算 事業費	4,782	4,330	970			
市債+一般財源	4,782	4,330	970			

事業概要	区民や区内各種団体の交流促進及びコミュニティの再生のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催します。また、区制100周年のカウントダウンスタートとなる95周年の年に花火打ち上げなど内容を拡充し、区制100周年に向けた盛り上げを図ります（予算は別途計上）。	
事業開始年度	平成6年度	
根拠法令・方針決裁等	ほ도가や区民まつり補助金交付要綱	
運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針「つながり・支えあいの推進」	

事業目的・効果 (必要性)	区民相互の交流のきっかけとなるイベントを開催し、子どもや高齢者でも参加しやすい体験型イベントの充実を図ることで、区民の交流、ふれあいが促進され、「わがまち保土ケ谷」意識を育むとともに、地域コミュニティの再生が図られます。 また、区内各種団体の活動をPRする場「区民バザール」を開催することで、区民と区内で様々な活動をしている団体との交流が促進されます。	
------------------	---	--

根拠・データ等	<区民まつり来場者数> 平成28年度 55,000人 平成29年度 50,000人 平成30年度 54,000人 令和元年度以降 中止	
---------	---	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
来場者数	単位	目標	50,000	中止	中止	50,000	50,000	50,000	50,000
	人	実績	中止	中止					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	<ほ도가や区民まつり実行委員会> 4～5月、9月、2～3月 <補助金交付> 6月、9月 <ほ도가や区民まつり> 10月	
----------	---	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ほ도가や区民まつり	4,900	4,900	0	
	細事業合計	4,900	4,900	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動	係
	椎葉 秀幸	松坂 純伸	小粥 亮典	



事業区課	保土ケ谷 区		地域振興 課			新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費		地域コミュニティ費						
歳出予算科目	一般 会計		3	款	2	項	1	目	
事業名称	自治会町内会支援事業								

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	3,603	0	0	0			3,603
令和3年度	3,548	0	0	0			3,548
増△減	55	0	0	0	0	0	55

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	2,871	3,391	3,735	3,603	3,603	3,603
	市債+一般財源	2,871	3,391	3,735	3,603	3,603	3,603
決 算	事業費	3,394	2,271	2,357			
	市債+一般財源	3,394	2,271	2,357			

事業概要	地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支え、市政・区政推進の基盤となることを目的とします。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	保土ケ谷区自治会町内会長永年在職者表彰要綱							
運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針「つながり・支えあいの推進」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>市政・区政の円滑な推進を図るためには、地域社会の担い手の中心である自治会町内会と密に連絡をとり、その活動の支援をすることが必要となります。回覧や掲示などにあたっては、自治会町内会の協力を受けており、これらの依頼業務によって自治会町内会の自主活動を阻害することのないよう、量の削減及び配送の一元化を行います。</p> <p>また、各地区の代表者として、地域活動の中心的役割を担う自治会町内会長に、日頃の市政・区政への協力を感謝の意を示すとともに、自治会町内会との関係を強化できるよう自治会町内会長感謝会を開催します。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市自治会町内会加入率 &lt;実績推移&gt;平成30年度73.4%、元年度72.4%、2年度71.2%</li> <li>保土ケ谷区自治会町内会加入率 &lt;実績推移&gt;平成30年度76.0%、元年度75.0%、2年度73.7%</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地区連合町内会団体数	単位	目標	20	20	20	20	20	20
	団体	実績	20	20				
自治会町内会団体数	単位	目標	196	196	196	195	195	195
	団体	実績	196	196				
議題件数	単位	目標	160	160	155	150	145	140
	件	実績	165	158				
事業スケジュール	・平成6年度：事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	配送ルート(送付・仕分)	2,267	2,283	▲16	配送単価および団体数の減による減
	②	自治会町内会長感謝会	1,336	1,265	71	表彰見込み数の増
細事業合計			3,603	3,548	55	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係 溝口 雅巳
	椎葉 秀幸	松坂 純伸	

事業区課	保土ヶ谷 区	地域振興 課			新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	国際文化理解事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	783	0	0	0		783
令和3年度	883	0	0	0		883
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	1,100	948	948	783	783	783
市債+一般財源	1,100	948	948	783	783	783
決 算 事業費	1,844	1,300	83			
市債+一般財源	1,844	1,300	83			

事業概要	国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生の実現を目指します。							
事業開始年度	平成28年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>社会・経済・文化の急速なグローバル化の進展に伴い、区内にも多くの外国人が在住・在学していることや、横浜市として外資系企業や外国人観光客の誘致を積極的に展開していることから、従前にも増して多様な文化を持つ人々と共に生きる社会を目指すことが必要です。</p> <p>保土ヶ谷区はブルガリアとの間でパートナー都市協定を締結していることから、より一層認知度を高めていくため、引き続きブルガリアとの交流を深めるとともに、多文化共生のまちづくりを推進していくことが必要です。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフィア市（ブルガリア共和国首都）とのパートナー都市協定（平成20年3月から。3年ごとに更新）</li> <li>・国際理解特別授業実施実績</li> </ul> <p>平成28年度：上星川小、上菅田小、権太坂小  平成29年度：保土ヶ谷小、岩崎小、笹山小、ろう特別支援学校  平成30年度：初音が丘小、常盤台小、仏向小、瀬戸ヶ谷小  令和元年度：星川小、今井小、桜台小、坂本小  令和2年度：帷子小、峯小、新井小、藤塚小</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
国際理解特別 授業実施校	単位	目標	4	4	3	4	4	4
	校	実績	4	4				
区民向けイベ ント参加者数	単位	目標	500	500	500	500	500	500
	人	実績	180	0				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>平成20年度：ブルガリア共和国ソフィア市と保土ヶ谷区がパートナー都市協定を締結</p> <p>平成28年度：区内小学校における国際理解特別授業開始</p> <p>平成29年度：花フェスタ及び区民まつりにおける区ブース出展、ブルガリア料理教室開催（以降も継続）</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	国際理解特別授業	395	395	0	
	②	ブルガリア他多文化区民向けイベント	388	388	0	
	③	東京オリンピック・パラリンピックを契機とした各国区民向けイベント	0	100	▲ 100	事業終了による減
細事業合計			783	883	▲ 100	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援	係
	椎葉 秀幸	李 悠	佐藤 司	

事業区課	保土ヶ谷 区	地域振興 課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費					
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	花薫るきれいな街ほどがや						

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,336	0	0	0		4,336
令和3年度	4,246	0	0	0		4,246
増△減	90	0	0	0	0	90

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	3,506	4,492	4,842	5,123	5,123
市債+一般財源	3,506	4,492	4,842	5,123	5,123	5,123
決算	事業費	3,418	4,420	2,434		
市債+一般財源	3,418	4,420	2,434			

事業概要	次世代につながる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。							
事業開始年度	平成8年度							
根拠法令・方針決裁等	ほどがや花の街推進連絡会活動補助金交付要綱、廃棄物処理法、横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理に関する条例、横浜市廃棄物処理計画、横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱防止に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベント等を通じてごみの分別、リサイクル、3R行動の普及について、広く区民にPRすることにより、ごみの減量化に取り組んでいきます。</li> <li>街の美化については、地域清掃を支援することにより、地域に街の美化活動が定着しています。今後も地域との協働により、きれいな街づくりを進めていきます。</li> </ul>							
根拠・データ等	・ほどがや花フェスタ参加者数							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
花フェスタ参加者	単位	目標	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
	人	実績	0	0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>花フェスタ企画委員会(年3回)</li> <li>花フェスタ2022(令和4年5月21日)</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 花の街事業	600	400	200	植栽面積増による委託料の増
	② ほどがや花の街推進連絡会運営事業	3,556	3,556	0	
	③ 3R広報・PR活動事業	100	210	▲110	在庫利用による減
	④ 転入・単身者向け分別啓発事業	80	80	0	
	⑤ クリーンタウンほどがや事業	0	0	0	
細事業合計		4,336	4,246	90	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当
	米村 卓郎	青木 雅徳	係 亀井 隆

事業区課	保土ヶ谷区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	
事業名称	災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】					

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	12,560	0	0	0		12,560
令和3年度	11,536	0	0	500		11,036
増△減	1,024	0	0	△500	0	1,524

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	12,228	12,390	11,536	12,000	12,000	12,000
市債+一般財源	12,228	12,390	11,536	12,000	12,000	12,000
事業費	11,990	10,423	16,692			
市債+一般財源	11,990	10,423	16,692			

事業概要	安全・安心に暮らせることができる保土ヶ谷区の実現のため、危機管理・地域防災力の向上を図ります。
事業開始年度	平成6年度
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、水防法、土砂災害防止法、横浜市災害対策本部条例、横浜市地域防災計画、保土ヶ谷区防災計画 他
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「暮らしの安全・安心の確保」

事業目的・効果 (必要性)	<p>保土ヶ谷区は帷子川・今井川の二つの河川に沿った低地部と川を取り囲むように急傾斜の丘陵地が形成されており、起伏に富んだ地形で山坂が多いことから、地震や降雨によるがけ崩れや浸水等の被害が生じやすい地域である。さらに、横浜市地震防災戦略に定める地震防災対策地域があり、震災時の出火による延焼拡大が懸念される。これらのリスクを軽減し、安全・安心に暮らすことができる保土ヶ谷区の実現のため以下のことについて取り組む。</p> <p>①激甚化する風水害に備え、災害時に適切な判断による避難情報の発令や、迅速な避難所開設を行えるように、防災関連システムの運用や職員向けの訓練・研修会を通じ、区本部体制を強化する。</p> <p>②震災時に、感染症対策も踏まえた地域防災拠点の開設・運営が円滑に行われるように、地域への支援を実施する。</p> <p>③震災時に適切かつ迅速な医療を提供できるように、各種訓練や協議会を通じ有効な体制を構築するとともに、関係機関との連携強化を図る。</p> <p>④発災時における要援護者支援が円滑に行われるように、平時から福祉避難所との情報交換や避難所開設訓練を実施する。</p> <p>⑤自助・共助による地域の防災力向上のために、減災運動推進大会の開催や効果的な広報啓発活動を実施する。また、将来も見据えた地域防災の担い手育成のために、小学4年生を対象に防災の関心を高める「がやっこレスキュー隊Jr.防災力検定」を実施し、家庭での取組の促進にも繋げる。</p> <p>⑥震災時の火災被害を軽減するため、感震ブレーカーの設置促進に努める。</p>
------------------	--

根拠・データ等	<p>区災害対策警戒本部設置回数：平成30年度12回、令和元年度12回、令和2年度21回、令和3年度20回（見込）</p> <p>災害情報通知システム配信回数：平成30年度22回、令和元年度26回、令和2年度32回、令和3年度30回（見込）</p> <p>河川水位警報システム吹鳴回数：平成30年度0回、令和元年度5回、令和2年度1回、令和3年度3回（見込）</p> <p>地域防災拠点訓練参加者数：平成30年度8,334名、令和元年度6,852名、令和2年度766名、令和3年度800名（見込）</p> <p>防災マップ作成部数：平成30年度15,000部、令和元年度10,000部、令和2年度20,000部、令和3年度27,000部（見込）</p> <p>減災運動推進大会参加者数：平成30年度300名、令和元年度270名、令和2年度129名、令和3年度300名（見込）</p> <p>土砂災害警戒区域：188箇所 土砂災害特別警戒区域：172箇所 即時避難指示対象区域：10箇所、162世帯345名</p>
---------	--

事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
小中学校向け防災出前授業の実施	単位	目標		1000	1000	1000	1000	1000
	人	実績	510	274				
感震ブレーカー設置補助（自治会町内会対象）	単位	目標	1,080	1,080	600	300	300	300
	世帯	実績	363	729				
感震ブレーカー設置委託（個人世帯対象）	単位	目標		100	50	50	50	50
	世帯	実績						

事業スケジュール	<p>令和元年度：台風第15号、19号接近に伴う区災害対策警戒本部設置</p> <p>令和2年度：避難所における新型コロナウイルス感染症対策物資の調達</p> <p>令和3年度：感震ブレーカー等設置促進事業（個人世帯向け取付助成）開始。がやっこレスキュー隊Jr.防災力検定事業開始。</p>
----------	---

(単位:千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 区本部体制構築事業	2,120	2,376	▲ 256	購入物品の見直しによる減
② 防災関連システム運用事業	1,645	1,700	▲ 55	保守委託費、光熱水費の積算見直しによる減	
③ 防災用優先携帯電話	50	50	0		
④ 災害医療連絡会議	31	31	0		
⑤ 災害医療体制構築事業	37	37	0		
⑥ 福祉避難所体制構築事業	34	34	0		
⑦ 防災資機材置場整備事業	1,150	1,150	0		
⑧ 防災・減災啓発事業	5,204	5,469	▲ 265	広報手段の見直しによる減	
⑨ 地域防災拠点支援事業	2,289	689	1,600	防災倉庫設置による増	
	細事業合計	12,560	11,536	1,024	

課長	係長	庶務係
中山 陽子	田中 健雄	長尾 泰尚

本資料は、公正・適正に作成しました。

事業区課	保土ヶ谷 区	地域振興 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	-
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	保土ヶ谷区地域防犯力向上事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,615	0	0	9		5,606
令和3年度	5,697	0	0	9		5,688
増△減	△ 82	0	0	0	0	△ 82

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	5,493	5,546	5,546	5,731	5,731	5,731
	市債+一般財源	5,493	5,546	5,546	5,731	5,731	5,731
決算	事業費	4,909	7,325	7,325			
	市債+一般財源	4,909	7,325	7,325			

事業概要	警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを推進します。							
事業開始年度	平成14年度							
根拠法令・方針決裁等	保土ヶ谷区防犯商店街活動支援補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 暮らしの安全・安心の確保							
事業目的・効果 (必要性)	<p>保土ヶ谷区内の犯罪件数は、ここ数年減少傾向にあるものの、依然として年間700件近く犯罪が発生しています。また、市民意識調査においても、例年、市政への要望として「防犯対策」が上位に位置しており、市民の防犯への関心は高まっています。</p> <p>その中で、保土ヶ谷区としては、警察や防犯協会等の関係機関と連携し、地域の防犯活動を支援するほか、啓発活動を行い、区民一人ひとりの防犯意識の高揚を図ることで、区民が安全・安心に生活できる地域社会の実現につなげ、区民の要望に応じていく必要があります。</p>							
根拠・データ等	○保土ヶ谷区内刑法犯発生件数 平成27年 1,148件、平成28年 1,114件、平成29年 946件、平成30年 781件、令和元年 700件、令和2年 652件							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区内刑法犯発生件数	単位	目標	対前年比減少	対前年比減少	対前年比減少	対前年比減少	対前年比減少	対前年比減少
	件	実績	700	652				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<防犯商店街活動支援事業、防犯物品配布、防犯センター事業> 通年 <防犯キャンペーン> 12月 <防犯コンクール> 1～2月							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	防犯商店街活動支援事業	795	795	0
②	防犯啓発事業	1,472	1,554	▲ 82	区配見込み及び単価実績ベースによる減
③	こども110番あんしんの家支援事業	613	613	0	
④	防犯センター事業	2,735	2,735	0	
	細事業合計	5,615	5,697	▲ 82	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	椎葉 秀幸	松坂 純伸	小粥 亮典

事業区課	保土ヶ谷 区	地域振興課 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費				
歳出予算科目	一般 会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	交通安全対策事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,340	0	0	0		3,340
令和3年度	3,643	0	0	0		3,643
増△減	△ 303	0	0	0	0	△ 303

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	3,033	7,254	4,384	3,644	3,644	3,644
市債+一般財源	3,033	7,254	4,384	3,644	3,644	3,644
決 算 事業費	2,830	10,376	3,924			
市債+一般財源	2,830	10,376	3,924			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進します。</li> <li>駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発します。</li> </ul>							
事業開始年度	平成12年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市自転車等放置防止に関する条例、交通安全運動横浜市実施要綱、保土ヶ谷区スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、保土ヶ谷区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、交通安全対策基本法							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 暮らしの安全・安心の確保							
事業目的・効果(必要性)	<p>区内の交通事故件数は昨年に比して若干増えておりますので、安全・安心な街づくりを推進するため、さらなる道路環境の整備や交通安全思想の普及などの交通施策を実施して交通事故防止を図る必要があります。</p> <p>また、放置自転車防止対策として、自転車等放置防止監視員の配置や区民の意識啓発などを総合的に推進していく必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全運動・啓発活動・交通安全教育</li> <li>警察・交通安全協会・地域と協働して、児童・高齢者等を対象とした交通安全教育や交通安全運動キャンペーンを開催することなどにより、交通安全意識の向上を図ります。</li> <li>自転車等放置特別対策</li> <li>4 駅に自転車等放置防止監視員を配置し、放置禁止区域の周知、自転車駐輪場への誘導・案内等適正利用への指導啓発を行い、自転車等の放置防止の意識の向上を図ります。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内交通事故発生件数【保土ヶ谷警察署】 元年度477件、2年度408件</li> <li>区内交通事故死亡者数【保土ヶ谷警察署】 元年度1人、2年度5人</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区内交通事故死亡者数	単位	目標	0	0	0	0	0	0
	件	実績	1	5				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全運動：春（4月）、秋（9月）の全国交通安全運動、夏（7月）、年末（12月）の交通事故防止運動</li> <li>交通安全教室等：はまっこ交通安全教室、3世代交通安全教室の実施、自治会・町内会への交通安全出前講座</li> <li>功労者表彰：11月に功労者表彰式を開催</li> <li>交通安全対策：スクールゾーン対策協議会の開催（6月～7月）、スクールゾーン路面標示の整備（10月以降）</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	交通安全運動・教育・啓発	432	702	▲ 270	事業終了による減等
	②	交通安全対策事業	2,328	2,291	37	設置箇所増による委託料の増
	③	自転車等放置特別対策	580	650	▲ 70	委託単価見直しによる減
細事業合計			3,340	3,643	▲ 303	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	椎葉 秀幸	松坂 純伸	亀井 隆

事業区課	保土ヶ谷 区	地域振興 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	市民活動支援事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,211	0	0	0		4,211
令和3年度	4,211	0	0	0		4,211
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	3,313	4,616	4,211	4,211	4,211	4,211
市債+一般財源	3,313	4,616	4,211	4,211	4,211	4,211
決 算 事業費	3,385	4,215	4,769			
市債+一般財源	3,385	4,215	4,769			

事業概要	市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域で活動する区民や団体間の連携・協働を図ります。区民の活動発表の場を提供するなど、地域に密着したきめ細やかな支援を行います。	
事業開始年度	平成18年度	

根拠法令・方針決裁等	横浜市市民協働条例、横浜市生涯学習基本構想、ほ도가や市民活動センター運営要綱 ほ도가や生涯学習フォーラム開催要領、ほ도가や生涯学習フォーラム実行委員会規約
------------	--

運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標に向けた施策「つながり・支え合いの推進」
-----------	---------------------------------------

事業目的・効果 (必要性)	<p>ほ도가や市民活動センターでは、地域に密着した市民活動や生涯学習活動の拠点として、市民活動が活発に行われる環境を整備し、区民の相互連携を促進するとともに、さまざまな主体が公共を担う社会の形成に寄与することを目的としています。当区は市内18区中6区で採用されている「民間委託」での運営を行っています。運営では、地域に密着した生涯学習の拠点として、新たな担い手の発掘、継続して活動を進めるための相談・助言、交流の場の提供等の支援を行います。地域課題やニーズの把握に努め、きめ細やかな対応・支援を実施します。</p> <p>区内の活動団体が連携し、日頃の成果を発表する場として「ほ도가や生涯学習フォーラム」を実施します。参加団体の代表が運営する「ほ도가や生涯学習フォーラム実行委員会」に実施を委託し、活動団体同士の交流を促進します。</p>
------------------	---

根拠・データ等	<p>◎センター利用件数(人数)</p> <p>平成28年度：2,978件(22,239人) 平成29年度：3,027件(24,099人) 平成30年度：2,793件(22,683人) 令和元年度：2,452件(17,968人) 令和2年度：1,530件(7,790人)</p> <p>◎フォーラム来場者数</p> <p>平成28年度：約1,480人 平成29年度：約860人 平成30年度：約1,000人 令和元年度：約700人 令和2年度：中止(記録集発行)</p>
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
センター利用者数	単位	目標	20,000	20,000	15,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	人	実績	17,968	7,790					
フォーラム参加団体数	単位	目標	30	30	23	30	30	30	30
	団体	実績	27	19					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	<p>◎センター運営</p> <p>第1期(平成18～平成22年度)：アクティオ㈱ 第2期(平成23～平成27年度)：アクティオ㈱ 第3期(平成28～令和2年度)：特定非営利活動法人横浜市民アクト 第4期(令和3～令和7年度)：特定非営利活動法人横浜市民アクト</p> <p>◎ほ도가や生涯学習フォーラム</p> <p>昭和57年度「保土ヶ谷学習グループ交流のつどい」 平成13年度「ほ도가や生涯学習フォーラム」</p>
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	市民活動センター運営事業	3,896	3,896	0	
	②	ほ도가や生涯学習フォーラム事業	315	315	0	
細事業合計			4,211	4,211	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援	係
	椎葉 秀幸	飯島 拓	岩間 千恵子	

事業区課	保土ヶ谷 区	地域振興 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	はぐくみプロジェクト					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,959	0	0	0		2,959
令和3年度	3,162	0	0	0		3,162
増△減	△ 203	0	0	0	0	△ 203

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	1,960	2,139	3,160	3,237	3,237	3,237
市債+一般財源	1,960	2,139	3,160	3,237	3,237	3,237
決 算 事業費	1,186	1,034	1,998			
市債+一般財源	1,186	1,034	1,998			

事業概要	<p>区民が地域に関心を持つきっかけを作り、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行います。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指し、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図り、区民との交流の機会を設けます。</p>							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	教育基本法、社会教育法、男女共同参画推進条例、第3次横浜市生涯学習基本構想、保土ヶ谷区区民企画型講座運営補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支え合いの推進」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>地域における担い手不足に対応するため、主体性をもって継続的に活動できる区民を育むことが求められています。社会貢献への意欲を持つ区民の活動は、地域の活力を生み出す原動力となるため、各人が自分にふさわしい形で地域活動・市民活動に参加できるよう支え、「楽しさ」の中で社会貢献する「喜び」や「達成感」を感じられる取組を実施していきます。また、男女共同参画の視点から、子育て世代が社会のあらゆる分野に参加する機会を確保するため、保育付きの講座が必要です。</p> <p>多様化・複雑化する区民ニーズや相談に的確に対応していくため、分野横断的な施設間連携が必須となります。区内施設が情報や経験を共有し、協力して地域課題に取り組んでいける土壌づくりを行います。特にこれまで、主に貸館として運用していた地区センター及びコミュニティハウスの地域コーディネート機能を充実させ、地域まちづくりの拠点とすることで、地域参加のすそ野を広げ、地域住民の主体的な活動が展開されることを目指します。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育基本法 ・ 社会教育法 ・ 男女共同参画推進条例 ・ 第3次横浜市生涯学習基本構想</li> <li>保土ヶ谷区区民企画型講座運営補助金交付要綱</li> <li>「第32期横浜市社会教育委員会議提言」にて本市における社会参加のすそ野の拡大について提言</li> <li>「地区センター・コミュニティハウスにおける地域コーディネートガイドライン」(令和3年4月保土ヶ谷区作成)</li> <li>「地区セン・コミハの地域を支えるポイントブック」(令和3年4月保土ヶ谷区作成)</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
【区民向け】 はぐくみ塾 参加人数	単位	目標	20	20	20	20	20	20
	人	実績	16	12				
【施設向け】 デザインセンター 参加施設数	単位	目標	20	20	20	20	20	20
	施設	実績	19	8				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<p>平成6年度 はぐくみプロジェクト 開始          平成29年度 区民施設間連携促進事業 開始          令和2年度 コーディネート機能強化事業 開始(区提案反映制度)</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区民向け		1,264	1,420	▲ 156
②	施設職員向け		1,695	1,742	▲ 47	在庫の精査による減
	細事業合計		2,959	3,162	▲ 203	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	椎葉 秀幸	飯島 拓	ナイームモハメドモアズ



事業区課	保土ヶ谷 区	地域振興 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	読書活動推進事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	860	0	0	0		860
令和3年度	660	0	0	0		660
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	200	650	750	660	660	660
市債+一般財源	85	650	750	660	660	660
決 算 事業費	200	609	326			
市債+一般財源	85	609	326			

事業概要	区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発や読書に親しむ講座などを実施することで、保土ヶ谷区民の読書活動を推進します。							
事業開始年度	平成26年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市民の読書活動の推進に関する条例、保土ヶ谷区読書活動推進目標							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」「つながり、支えあいの推進」							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所、図書館、学校に区民利用施設、活動団体、民間事業者の代表を加えた読書推進会を通じて、読書活動を進めることで、活動を通じた人々のつながりあいや、本を通じた魅力あるまちづくりを目指します。</li> <li>幅広い世代に対応した読書機会の拡大が、求められています。</li> <li>保土ヶ谷図書館を中核として、様々な個人・団体と連携することで、保土ヶ谷区の地域特性を活かし、地域に根差した読書活動推進が求められています。</li> </ul>							
根拠・データ等	<p>保土ヶ谷図書館 入館者数          &lt;実績推移&gt;元年度328,756人、2年度242,896人、3年度328,756人(見込)、4年度328,756人(見込) ※1日当たり約1,000人</p> <p>保土ヶ谷図書館 年間貸出冊数          &lt;実績推移&gt;元年度422,628冊、2年度358,936冊、3年度422,628冊(見込)、4年度422,628冊(見込)</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
読書活動推進講演会	単位	目標	500	500	300	500	500	500
	人	実績	432	0				
読書活動推進講座	単位	目標	8	7	7	8	8	8
	回	実績	7	4				
読書推進会	単位	目標	2	2	3	3	3	3
	回	実績	2	3				
事業スケジュール	平成26年度：事業開始、読書活動推進会立上げ、保土ヶ谷区読書活動推進目標策定、講演会実施、図書貸出施設ガイドマップ作成 平成29年度：講座実施、図書貸出施設ガイドマップ改訂 令和元年度：第二次保土ヶ谷区読書活動推進目標策定 令和2年度：保土ヶ谷図書館施設マップ改訂 令和4年度：保土ヶ谷図書館開館40周年							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	読書活動推進講演会	410	410	0	
	②	読書活動推進講座	349	149	200	図書館周年事業連携講座実施による増
細事業合計			759	559	200	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	海老原 浩志	飯島 拓	芦田 恵

事業区課	保土ケ谷 区	地域振興 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	-
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	保土ケ谷芸術の街					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,632	0	0	0		2,632
令和3年度	2,727	0	0	0		2,727
増△減	△ 95	0	0	0	0	△ 95

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,847	3,047	2,747	2,632	2,632	2,632
	市債+一般財源	2,847	3,047	2,747	2,632	2,632	2,632
決算	事業費	2,841	2,413	1,518			
	市債+一般財源	2,841	2,413	1,518			

事業概要	保土ケ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	保土ケ谷区地域文化事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力あるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	区の文化振興策として「活動成果発表の場や鑑賞の機会の提供」を積極的に行い、また、区内の文化芸術活動を支援・育成し、区民が身近な場所で、多様な文化に気軽に触れることができる環境を作る必要があります。 また、令和4年は区制95周年にあたるため、100周年に向けた機運醸成を図る新規イベントを別途実施します。(区政100周年に向けた機運醸成事業)。							
根拠・データ等	区民文化祭 参加者数 <実績推移>元年度5,356人 2年度600人、3年度3,600人(見込)、4年度6000人(見込)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
文化祭参加団体数	単位	目標	10	10	5	10	10	10
	事業	実績	10	3				
ギャラリー展示数	単位	目標	52	52	52	52	52	52
	組	実績	51	42				
区民コンサート	単位	目標	450	450	450	450	450	450
	人	実績	340	未実施				
事業スケジュール	平成6年度：事業開始 平成18年度：区民コンサート事業開始 平成20年度：区の歌普及事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	保土ケ谷区民文化祭事業	2,000	2,000	0	
②	区民ギャラリー事業	32	127	▲ 95	ギャラリー調査見直しによる減	
③	区民密着型コンサート事業	300	300	0		
④	区の歌普及事業	300	300	0		
細事業合計			2,632	2,727	▲ 95	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	椎葉 秀幸	李 悠	田村 優子

事業区課	保土ケ谷 区	地域振興課 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1	目		
事業名称	スポーツの街ほどがや推進事業					

(単位:千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,034	0	0	0		3,034
令和3年度	3,612	0	0	0		3,612
増△減	△ 578	0	0	0	0	△ 578

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,715	2,951	4,063	3,034	3,034	3,034
決算	市債+一般財源	2,715	2,951	4,063	3,034	3,034	3,034
予算	事業費	2,715	2,926	1,992			
決算	市債+一般財源	2,715	2,926	1,992			

事業概要	スポーツ推進委員や区スポーツ協会と協力して、年齢・性別問わず区民の誰もがスポーツに親しみ、交流できる環境づくりを推進します。子どもから大人まで幅広い年代が参加できる大会の実施をとおして、区民の健康を維持し、スポーツへの関心を高めます。また、保土ケ谷区をホームタウンとして活動する唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの協働を通じ、スポーツをととした区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	スポーツ基本法、横浜市スポーツ推進委員規則、保土ケ谷区スポーツ活動推進事業補助金交付要綱、保土ケ谷区スポーツ協会事業補助金交付要綱、区内スポーツ団体連携強化事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスによる自粛等の影響により、運動不足による健康二次被害やスポーツ離れが懸念されている昨今、東京2020オリンピック・パラリンピックで高まった関心を継続し、多くの区民にスポーツの大切さ、楽しさを普及し、スポーツに親しむ機会を提供する必要があります。</li> <li>スポーツを見るだけでなく、実際に体を動かすことにより、健康維持や増進のみならず、ストレス発散や精神的な充実をもたらし、地域の方が交流を深めるきっかけとなります。</li> <li>地域でスポーツ活動の主眼的な役割を果たしているスポーツ推進委員や区スポーツ協会の活動を支援する取組が必要です。</li> <li>区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCのホームタウン活動や地域を含めた連携事業により、横浜FCへの区民の愛着を一層育むとともに、区の魅力向上に繋がります。</li> <li>令和9年度の区制100周年に向けた機運を醸成するとともに、地域の一体感や充足感を高めることを目指し、スポーツを通じた交流の取組を進めます。</li> </ul>							
根拠・データ等	<p>【スポーツ協会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区スポーツ協会加盟団体数：12団体 区民大会開催数：44大会（コロナ前）</li> <li>【各種スポーツ大会事業】</li> <li>区スポーツ推進委員地区：18地区 委員数：第32期 157人→第33期 145人</li> <li>【プロスポーツ連携事業】</li> <li>平成22年7月に西谷浄水場体育施設に「横浜FC・LEOCトレーニングセンター」を開設。</li> <li>また、横浜FC創立20周年を機に、より連携を強化し、ホームタウン活動及び地域活性化に資する活動を推進するため、横浜FC、保土ケ谷区、保土ケ谷区連合町内会長連絡会、保土ケ谷区商店街連合会の4者で平成30年7月7日に協定を締結。</li> <li>【スポーツの効果、運動能力等の関係】</li> <li>体力測定の合計点数が、小・中学生の男女ともに減少傾向にある。</li> <li>(男子小学生：H31 54.2→R1 53.6 中学生：H31 42.2→41.6 女子小学生：H31 55.9→R1 55.6 中学生：H31 50.4→R1 50)</li> <li>また、1週間の運動時間も減少傾向にあり、運動能力の低下が見受けられる。</li> <li>■健康寿命と平均寿命の差が約10年の差がある。運動する機会が減った現代社会が影響。</li> <li>(男性：健康寿命 72.14歳 平均寿命 80.98歳 女性：健康寿命 74.79歳 平均寿命 87.14)</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ほどがやスポーツ祭り(参加者数)	単位	目標	800	300	300	300	300	300
	人	実績	中止	中止				
かるがもファミリーマラソン大会(参加者数)	単位	目標	1,300	1,300	1,000	1,000	1,000	1,000
	人	実績	1,014	中止				
横浜FC区民DAY(申込者数)	単位	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	人	実績	5,902	中止				
事業スケジュール	区スポーツ協会事業：通年 各種スポーツ大会：7月、11月、2月、3月 プロスポーツ連携事業：通年							

(単位:千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① スポーツ協会事業	1,322	1,300	22	県最低賃金の変更による増
	② 各種スポーツ大会事業	1,472	1,472	0	
	③ プロスポーツ連携事業	240	240	0	
	④ スポーツによる交流事業(周年事業からの再掲)	0	0	0	周年事業で計上
	⑤ 東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	0	600	▲ 600	
	細事業合計	3,034	3,612	▲ 578	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	椎葉 秀幸	飯島 拓	鈴木 佑弥

事業区課	保土ヶ谷区	地域振興課				新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費							
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目		
事業名称	がやっこ育成事業								

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	2,260	0	0	0		2,260	
令和3年度	1,812	0	0	0		1,812	
増△減	448	0	0	0	0	448	

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	300	306	306	2,260	2,260	2,260
市債+一般財源	300	306	306	2,260	2,260	2,260
決算	450	306	306			
市債+一般財源	450	306	306			

**事業概要**  
 青少年健全育成活動等に要する経費を補助するとともに、地域の資産（横浜国立大学や水田）と連携、活用し、未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図ります。また、児童から学生、高齢者まで様々な区民の世代間交流の場をつくるとともに、事業を通じて地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作ります。

**事業開始年度**  
 平成6年度

**根拠法令・方針決裁等**  
 保土ヶ谷区青少年健全育成事業補助金交付要綱、ほ도가や☆元気村事業実施要領、横浜市環境管理計画、国立大学法人横浜国立大学と横浜市保土ヶ谷区との連携協力協定書

**運営方針等との関連**  
 令和3年度保土ヶ谷区運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」「つながり、支えあいの推進」

**事業目的・効果(必要性)**  
 ・青少年の自立に向けて、多様な人と関わり、様々な文化・知識等に触れられる機会が求められています。  
 ・近隣や世代間など地域のつながりが希薄化しており、子どもたちが地域交流できる場や世代間交流の場が求められています。  
 ・長期的に青少年の健全育成に取り組む人材の育成及び確保が求められています。  
 ・地域の資産である横浜国立大学と連携した青少年健全育成事業や水田を活用した交流事業は大変好評であり、長期に渡り継続的に実施することで地域に根差した取組として区民に認知されるとともに、地域の担い手となるきっかけとして寄与しています。

**根拠・データ等**  
 ◇がやっこ事業  
 <国立大学法人横浜国立大学と横浜市保土ヶ谷区との連携協力協定書>  
 連携事項  
 (1) 人材の育成に関する事 (2) 学術研究の推進に関する事 (3) 地域の活性化に関する事 (4) 子育て支援・青少年の育成に関する事  
 <事業報告書>  
 大学近辺の地域の子どもたちと自然に触れ合う機会が毎年提供でき、長期にわたり継続的に行われているからこそ得られる知識の集積が大切である。参加者アンケートや学生レポートからは、参加して良かったや次回も参加したいなど本事業に対し好意的に受け入れられている。  
 ◇ほ도가や☆元気村  
 <申込状況>  
 申込者96名(受講者40名)  
 <参加者アンケート>  
 参加した感想：「よかった」、「どちらかといえばよかった」と回答した割合 児童80%、保護者100%  
 自由コメント：子ども達が食べることの大切さ、作ることの苦労等を知る、貴重な経験となった。  
 地元の方々との交流や年長者の方から教えてもらう機会となり、参加できて本当に良かった。  
 ◇子ども会  
 <子ども会数>15団体 (1,600~1,650人) <ジュニアリーダー数>約20人  
 ◇その他  
 区内小中学校 児童・生徒数計 14,230人 (令和3年4月現在)

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
がやっこ事業参加者延べ数	単位	目標	1,460	760	960	1,310	1,310	1,310	1,310
	人	実績	1,289	336					
元気村参加者延べ数	単位	目標	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	人	実績	1,700	800					
子ども会体験学習参加者延べ数	単位	目標	140	100	70	100	140	140	140
	人	実績	101	68					

**事業スケジュール**  
 平成6年度：事業開始  
 平成17年度：がやっこ事業開始  
 平成21年度：ほ도가や☆元気村事業開始

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	みんなで育む がやっこ事業	1,384	936	448	実績に伴う増
	②	ほ도가や☆元気村事業	570	570	0	
	③	子ども会育成者研修事業	306	306	0	
細事業合計			2,260	1,812	448	

本資料は、公正・適正に作成しました。

課長	係長	生涯学習支援	係
椎葉 秀幸	飯島 拓	芦田 恵	

事業区課	保土ケ谷 区	子ども家庭支援 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育 成費	1	目		
歳出予算科目	一般 会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	地域が見守る子どもたちの放課後事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,040	0	0	0		1,040
令和3年度	3,064	0	0	0		3,064
増△減	△ 2,024	0	0	0	0	△ 2,024

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	1,448	2,329	2,950	1,204	1,604	2,004
市債+一般財源	1,448	2,329	2,950	1,204	1,604	2,004
決 算 事業費	1,237	1,525	1,450			
市債+一般財源	1,237	1,525	1,450			

事業概要	放課後を地域が子どもを見守り・育くむ場ととらえ、地域の方々と様々な形で関わることで、子どもたちの社会性やコミュニケーション力の成長の一助とします。また、地域の埋もれた人材を発掘し、放課後に地域と子どもたちが関わることで地域とつながりを持ち、育った街に対する愛着を育みます。								
事業開始年度	平成29年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市放課後キッズクラブ事業実施要綱、横浜市放課後児童クラブ事業実施要綱								
運営方針等との関連	区政運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」第4期地域福祉保健計画「見守り・支えあい」								
事業目的・効果 (必要性)	人間関係の希薄化や社会性の欠落などの問題が指摘され、共働き世帯の進展やひとり親世帯の増加により、家庭内でのコミュニケーションが減少している昨今において、放課後の時間は子どもの社会性を身につける貴重な時間帯と言えます。また、地域との結びつきも希薄となっており、地域の方々が子どもたちに携わるきっかけが必要です。放課後キッズクラブや放課後児童クラブでこうした地域人材を発掘し、子どもたちとのかかわりを通して、地域と学校がともに子どもたちを見守り育む土壌を形成していく必要があります。また、こうした放課後の子どもたちを見守る放課後キッズクラブ、放課後児童クラブの職員の資質向上を目的に、区が独自に研修を企画・実施します。								
根拠・データ等	学校・地域コーディネーター配置校 (17/20校) * 富士見台・境木小含む 区内放課後キッズクラブ設置校：19校 区内放課後児童クラブ：9箇所								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
実施施設	単位	目標	9	12	12	10	12	16	20
	箇所	実績	9	12					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	令和4年度：これまでのがやっこキッズ学び育み事業のスキームを継承しつつ、地域の方々との連携を深める事業を開始。また、放課後児童クラブへ事業対象を拡大。 令和5～7年度：実施施設拡大								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域の方々との交流・学習支援	1,000	3,064	▲ 2,064	謝金単価の見直しなどによる減
	②	支援員研修	40	0	40	研修開催に伴う講師謝金の増
細事業合計			1,040	3,064	▲ 2,024	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭 係
	川瀬 倫子	渡辺 貴志	渡辺 貴志

事業区課	保土ケ谷 区	子ども家庭支援 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	ほ도가やhappy子育て～妊娠期からの安心サポート					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	4,960	0	0	0		4,960	
令和3年度	5,126	0	0	0		5,126	
増△減	△ 166	0	0	0	0	△ 166	

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,250	3,683	4,678	4,960	4,960	4,960
	市債+一般財源	4,250	3,683	4,678	4,960	4,960	4,960
決算	事業費	3,444	3,105	3,422			
	市債+一般財源	3,444	3,105	3,422			

事業概要	地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ケ谷」として、妊娠期からトータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきます。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、地域保健法、児童福祉法							
運営方針等との関連	区政運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」							
事業目的・効果(必要性)	平成29年度の子育てアンケート結果で2割の母親が孤立感を抱えていることが明らかになり、その孤立化感を和らげるため、①仲間づくり②親子のコミュニケーション③地域の方々とのつながりが取組の課題としてあげられており、地域で孤立しない育児・人とつながる子育ての支援等、妊娠期からトータルで子育てをサポートする必要があります。また、前回調査から5年が経過し、コロナ禍等により生活様式も変化しているため、今後の効果的な事業展開に向け、子育ての実態やニーズを改めて把握する必要があります。							
根拠・データ等	保土ケ谷区子育てアンケート(平成29年度実施)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地域赤ちゃん教室	単位	目標	2800	2000	1500	2500	2500	2500
	人数	実績	2855	1752				
地域子育て支援連絡会	単位	目標	2(エ7別7)	2(エ7別7)	1(エ7別7)	2(エ7別7)	2(エ7別7)	2(エ7別7)
	回数	実績	2(エ7別7)	0(エ7別7)				
ほ도가や子どもニコフェスタ	単位	目標	1400	1000	200	2000	2000	2000
	人数	実績	1500	981				
事業スケジュール	赤ちゃん教室開催(通年)、外国人親子への子育て情報提供(7月 資料作成)、健診受診者への支援(通年)、お役立ち情報(8月入所案内作成、10月入所案内配付)、子育てマップ(6～8月作成、9～10月配布開始)、ほめ方しかり方練習講座(5月 フォローアップ研修開催)、地域子育て支援連絡会(事務局研修7月、全体会2月 エリア別会議は通年)、ほ도가や子どもニコニコフェスタ(4月～10月打合せ、11月開催)、子育てアンケート調査(4月～9月アンケート内容検討・作成、10～12月アンケート実施、1～3月分析・集計)							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 地域赤ちゃん教室	752	788	▲ 36	前年度実績に基づく減
	② 外国人親子への子育て情報提供	200	747	▲ 547	実施手法の変更に伴う減
	③ 乳幼児健診来庁者への情報提供	798	889	▲ 91	前年度実績に基づく減
	④ お役立ち情報の充実	735	735	0	前年度同額
	⑤ ほめ方・しかり方練習講座	114	786	▲ 672	事業者主体とすることによる減
	⑥ 地域子育て支援連絡会	367	481	▲ 114	前年度実績に基づく減
	⑦ ほ도가や子どもニコニコフェスタ	500	500	0	前年度同額
	⑧ 学齢期の子どもと地域のつながりづくりの推進	0	200	▲ 200	実施方法の見直しによる減
	⑨ 子育てアンケートの実施	1,494	0	1,494	定期実施(5年毎)による増
細事業合計		4,960	5,126	▲ 166	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係 稲葉 房子
	大吉 進	稲葉 房子	

事業区課	保土ヶ谷区 区	子ども家庭支援 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育 成費	1	目		
歳出予算科目	一般 会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	ほしがやhappy子育て～保育所による妊娠期・未就 学児支援事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	911	0	0	0		911
令和3年度	1,078	0	0	0		1,078
増△減	△ 167	0	0	0	0	△ 167

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	685	1,621	1,384	911	911	911
市債＋一般財源	685	1,621	1,384	911	911	911
決 算 事業費	634	1,337	1,034			
市債＋一般財源	634	1,337	1,034			

事業概要	「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきます。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、地域保健法、児童福祉法、横浜市保育所地域子育て支援事業実施要綱							
運営方針等との関連	区政運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり							
事業目的・効果 (必要性)	平成29年度の子育てアンケート結果で2割の母親が孤立感を抱えていることが明らかになり、その孤立感を和らげるため、①仲間づくり②親子のコミュニケーション③地域の方々とのつながりが取組の課題としてあげられました。地域で孤立しない育児ができるよう、人とつながる子育てを支援していくため、市立保育所が持つ保育資源を活用し、妊娠期及び未就学児親子をサポートしていく必要があります。							
根拠・データ等	保土ヶ谷区子育てアンケート（平成29年度実施） ※令和4年度に新しい生活様式に合わせたアンケートを再度実施予定。							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
保育所ひろば (保土ヶ谷区版)参加者	単位	目標	2600	2600	2200	2600	2600	2600
	人	実績	2600	2000				
ほがらか広場・ほがらか 育児講座	単位	目標	800	550	550	550	550	550
	人	実績	700	15				
保育園応援隊	単位	目標	20	20	20	20	20	20
	回	実績	20	2				
事業スケジュール	保育所ひろば（保土ヶ谷区版）通年実施【開催時にホームページやチラシ等で広報実施】 ほがらか広場（10月イベント実施） ほがらか育児講座（7月、8月、9月、11月、1月講座実施） 保育園応援隊（通年実施）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	保育所ひろば（保土ヶ谷区版）	538	549	▲ 11	実施方法の見直しによる減
	②	ほがらか広場・ほがらか育児講座	238	298	▲ 60	前年度実績に基づく減
	③	保育園応援隊	135	231	▲ 96	実施方法の見直しによる減
細事業合計			911	1,078	▲ 167	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	大吉 進	係長	小杉 まり子	子ども家庭 係 小杉 まり子
--------------------	----	------	----	--------	-------------------

事業区課	保土ケ谷 区	子ども家庭支援 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育 成費	1	目		
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	
事業名称	子どもを守ろう！地域子育てつながり事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,940	0	0	0		1,940
令和3年度	1,698	0	0	0		1,698
増△減	242	0	0	0	0	242

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	2,342	2,103	2,037	1,940	1,940	1,940
市債+一般財源	2,342	2,103	2,037	1,940	1,940	1,940
決 算 事業費	2,261	1,759	940			
市債+一般財源	2,261	1,759	940			

事業概要	子ども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすいひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげます。							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童虐待の防止等に関する法律、児童福祉法、横浜市子供を虐待から守る条例、横浜市子ども・子育て支援事業計画、横浜市子どもの貧困対策に関する計画							
運営方針等との関連	区政運営方針 誰もが健康やかに暮らせる環境づくり							
事業目的・効果 (必要性)	保土ケ谷区の2年度虐待相談件数は552件で、区内の児童人口の2.02%という状況にあります。年々増える相談や通報等に適切に対応するため、職員のスキルアップを図るとともに、地域の「見守り力」を向上させます。要保護児童対策地域協議会の関係機関の連携において、密接な関係を築き、早期対応による児童虐待の重篤化を防止します。市民への児童虐待防止啓発と子ども家庭相談等の子育て相談先の周知を行い、児童虐待の世代間連鎖を断ち切る働きかけを行います。							
根拠・データ等	児童虐待相談の対応件数、進行管理台帳（被虐待児を登録している台帳）登録数 相談対応件数 487件（H30）、661件（R1）、552件（R2） 台帳登録数 376人（H30）、315人（R1）、338人（R2） （参考）18歳未満人口 28,121人（H30）、27,630人（R1）、27,241人（R2）							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地区要対協 実施回数	単位	目標	7	7	7	7	7	7
	回	実績	7	3				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	児童虐待防止啓発活動（通年）、啓発物品制作（9月）、虐待防止キャンペーン（10月、11月） 要保護児童対策地域協議会（エリア別は地域ごとに計画し実施、全体会6月） 女性の離婚等のための相談（通年）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	① 児童虐待防止啓発事業	1,308	986	322	啓発動画作成のための増
	② 要保護児童対策地域協議会	298	378	▲ 80	リーフレット配布対象の見直しによる減
	③ 女性の離婚等のための相談事業	334	334	0	前年度同額
細事業合計		1,940	1,698	242	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭 係
	大吉 進	田中 貴子	田中 貴子



事業区課	保土ヶ谷区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	ほどがや歯っぴいHealth事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,400	0	0	0		1,400
令和3年度	1,400	0	0	0		1,400
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	980	1,183	1,400	1,400	1,400	1,400
市債+一般財源	980	1,183	1,400	1,400	1,400	1,400
決算						
事業費	954	981	493			
市債+一般財源	954	981	493			

事業概要	口腔の健康状態は全身に大きく影響します。歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防、そして、オーラルフレイル予防まで、生涯にわたって口腔内を健康に保っていくために必要な知識や口腔内のお手入れ方法を、実技指導等を取り入れながら啓発します。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	健康増進法、母子保健法、歯科口腔保健の推進に関する法律、健康横浜21							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保土ヶ谷区の3歳児健診でむし歯のある児の割合は、平成14年：27.2%という市内最下位だったことで事業を開始した結果、令和元年：9.75%と減少していますが、市平均9.02%より高値で、継続した取組が必要です。</li> <li>1歳頃は、仕上げみがきの開始時期で保護者の歯に対する関心は高まる一方、子どもが仕上げみがきを嫌がること、育児不安の原因の一つとなっています。集団の場で他の子どもの様子を見ながら学び、育児不安を解消する場が必要です。</li> <li>歯周病は糖尿病や動脈硬化を進め、心筋梗塞などの全身の病気につながることで、むし歯と共に歯をなくす原因となり食生活にも大きな影響を与えることがわかっています。軽度を含めると、40歳代で8割以上が歯周病に罹患しているため、より早期の20～30代から、子どもの歯への関心の高まる時期に、歯周病予防啓発を行うことは効果的です。生涯を通じて健康でいきいきとした生活のため、お口の健康づくりは重要です。</li> <li>近年、歯と口腔機能低下が全身の虚弱化に影響することが明らかになっています。そのため、成人期を中心とする歯周病予防推進と、高齢期を中心とするオーラルフレイル予防をより一層推進することで、歯と口腔機能が全身へ影響を及ぼす認知度を向上させることが課題です。</li> <li>区職員の直接支援には限りがあるため、地域人材の歯科口腔保健に関する理解促進と地域の普及啓発を推進していく必要があります。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>保土ヶ谷区3歳児健診 むし歯罹患率 令和2年度：10.88%11位(市平均8.26%)、令和元年度：9.75%11位(市平均9.02%)、平成30年度：10.75%13位(市平均9.3%)</li> <li>妊婦歯科健診受診率 平成30年度：36.9%6位(市平均36.6%)</li> <li>歯周病健診 令和2年度：1.44%(市平均0.65%) 受診結果が「歯周病要治療」者 87.65% 2位</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
歯っぴいいきいき1歳児	単位	目標	240	240	240	240	240	240
	人	実績	254	58				
産前産後ママ	単位	目標	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350
	人	実績	1,190	907				
医療関係団体との協働によるイベント	単位	目標	450	450	450	450	450	450
	人	実績	100	250				
事業スケジュール	(1) 歯っぴいいきいき1歳児事業 区役所において月1回(計12回) (2) 親子健康まつり事業 区役所において6月に1回 (1) 産前産後ママのお口のヘルスアップ事業 母親教室において月1回(年12回)、4か月健診において月2回(年24回) (2) 区民まつり むし歯クイズ 1回(区民まつり)							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 歯っぴいいきいき1歳児事業	614	614	0	
	② 親子健康まつり事業	80	80	0	
	③ 産前産後ママのお口のヘルスアップ事業	249	249	0	
	④ 区民まつり むし歯クイズ	56	56	0	
	⑤ 中小企業従業員に向けた口腔衛生の事前講座事業	0	0	0	
	⑥ 医療関係団体との協働によるイベント事業	68	68	0	
	⑦ 地域保健関係者への研修事業	134	134	0	
	⑧ 歯っぴいサポート事業	199	199	0	
	細事業合計	1,400	1,400	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	榎崎 佳代子	廣部 孝昌	林 かな子

事業区課	保土ヶ谷 区	福祉保健課	課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費					
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	ほ도가や元気づくり事業						

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,853	0	0	0		4,853
令和3年度	4,853	0	0	0		4,853
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	2,068	4,168	4,380	4,853	4,853	4,853
	市債+一般財源	2,068	4,168	4,380	4,853	4,853	4,853
決 算	事業費	2,014	3,745	1,504			
	市債+一般財源	2,014	3,745	1,504			

事業概要	「働き・子育て世代」(30～50代)中心とした区民へ健康に関する情報提供やきっかけづくりをすることで、自分自身で健康の維持・増進をする機運を高めます。							
事業開始年度	平成30年度							
根拠法令・方針決裁等	健康増進法、地域保健法、母子保健法、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、横浜市中期4か年計画、健康横浜21、横浜市食育推進計画第2期							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き・子育て世代は多忙な生活の中で、運動習慣や健診受診が、他の年代に比べて少ない。</li> <li>栄養、食生活の面では、朝食の欠食・野菜不足等の栄養の偏りといった食生活の乱れが多い。</li> <li>60代において糖尿病の指標数値が市全体に比べ有意に高い状況(衛研、H27.3.9資料)</li> <li>本人が体調変化を直接感じない間は、自身の健康に関心を持ちにくく、生活習慣病のリスクが高まっている。</li> <li>多忙な生活、多様なライフ・スタイルの中で区役所からの健康情報が届きにくいという特徴がある。</li> <li>働き・子育て世代が、生活習慣病予防のために健康に対する意識を高めていただくことで、多世代に対する波及効果が期待できる。</li> <li>健康寿命を延伸するためには、高齢期前の働き・子育て世代の時期からの健康に資する取組が重要となる。</li> <li>保土ヶ谷歯つばいHealth事業と連携して実施することで、働き・子育て世代に向けた歯周病予防の取り組みを充実させることが期待できる。</li> <li>従業員50人未満の中小企業は産業保健による支援が限定されるため、従業員は健康に関する情報が得づらい。</li> <li>中小企業や業態に従事する職員の健康支援については業態の特性に合わせた媒体を使って、健康経営で経営者と協働し進めていくことが必要。</li> <li>新型コロナウイルスに対する新たな生活様式を取り入れ、感染リスクが少ない普及啓発方法や体験型健康講座の手法を検討する必要がある。</li> </ul>							
根拠・データ等	健康に関する市民意識調査(H25,H28)、区民満足度調査(H24)、特定健診結果(KDB;協会けんぽ)、各種イベントアンケート、食育に関する市民意識調査(H21,H24,H26)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
情報誌の作成・配布	単位	目標		35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
	部	実績	10,500	25,000				
健康啓発動画の活用とPR	単位	目標		60,000	60,000	70,000	70,000	80,000
	回	実績	12,500	25,000				
企業・業界団体に向けた支援	単位	目標		10	10	10	10	10
	回	実績	1	3				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌「Hodogaya Healthcare Information」の作成・配布(通年)</li> <li>「健康に地産地消する」レシピに関するチラシの配布(通年)</li> <li>健康啓発動画の活用とPR及び企業の特徴を活かした健康普及啓発媒体の配信(12月配信)</li> <li>業界団体・区内企業向け各種業界団体の会議等での健康づくりPR(6月以降)</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ほ도가や元気づくり情報の啓発媒体の作成と活用【拡充】	3,676	2,050	1,626
②	SNS等を活用した広告による情報発信	0	750	▲750	啓発方法の見直しによる減
③	未就学児の保護者向け子育て支援拠点等での健康啓発	108	108	0	
④	業界団体・区内企業向け支援	386	486	▲100	R3年度契約に基づく減
⑤	各種イベントでの啓発	683	1,118	▲435	出店計画の見直しによる減
⑥	就学児の保護者向けプレ更年期講座	0	341	▲341	事業縮小による減
	細事業合計	4,853	4,853	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 檜崎 佳代子	係長 廣部 孝昌	健康づくり係 田上 真人
--------------------	--------------	-------------	-----------------

事業区課	保土ヶ谷区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	輝けシニア！2025事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,658	0	0	0		1,658
令和3年度	899	0	0	0		899
増△減	759	0	0	0	0	759

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
予算	1,158	1,158	2,316	643	643	1,286	1,429	1,429	2,858	1,200	1,200	2,400	1,000	1,000	2,000	1,000	1,000	2,000
決算	662	662	1,324	643	643	1,286	1,023	1,023	2,046									

事業概要	高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めます。							
事業開始年度	平成25年度							
根拠法令・方針決裁等	老人福祉法、介護保険法 他 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた保土ヶ谷区行動指針（アクションプラン） 等							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針「誰もが健やかに暮らせる環境づくり」							
事業目的・効果（必要性）	保土ヶ谷区では、平均自立期間が市平均を下回っているため、介護予防・認知症支援に力を入れ、健康寿命を延ばす取組が必要です。介護予防については、普及啓発に加えて、活動の場や担い手を増やす取組、誰でも参加できる活動の活性化支援が必要です。認知症支援については、病気への周囲の理解を深め、地域全体での見守りの輪を広げることが重要となります。加えて、高齢化社会においては、突発的な病気や怪我への対応や孤独死を予防するため、地域の見守り意識の醸成が重要となっています。また、区民、関係者に向けた地域包括ケアシステムに関する普及啓発や、地域の特性を踏まえた課題の抽出を進めるとともに、地域包括支援センター職員等の人材育成をアクションプランの具体的な取組を実施することで進めます。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>保土ヶ谷区 高齢者人口【各年9月末現在】 元年度53,855人、2年度54,152人、3年度54,309人（見込）、4年度54,500人（見込）</li> <li>保土ヶ谷区 介護保険認定者数【各年4月末現在】 元年度10,355人、2年度10,656人、3年度11,072人、4年度11,600人（見込）</li> <li>保土ヶ谷区 老人クラブ会員数【各年4月1日現在】 元年度7,590人、2年度7,243人、3年度6,764人、4年度7,000人（見込）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
通いの場の参加者人数	単位	目標	2,770	3,060	3,350	3,640	3,640	3,640
	人	実績	2,562	2,701				
	単位	目標						
	人	実績						
	単位	目標						
	人	実績						
事業スケジュール	令和元年度 きらり☆シニア塾事業評価開始 令和3年度 保土ヶ谷区アクションプラン策定（第8期高健計画） 令和4年度 きらり☆シニア塾事業評価 個別アンケート実施（アンケート集計・分析） 令和5年度 きらり☆シニア塾事業評価 リーダー向けグループインタビュー実施（結果分析・事業評価報告書作成） 令和6年度 保土ヶ谷区アクションプラン作成（第9期高健計画）							

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	きらり☆シニア事業	914	300	614
②	老人クラブ支援	228	228	0	
③	認知症高齢者等支援事業	295	150	145	連絡会用講師謝金の増、啓発用クリアファイル作成による増
④	見守り支援推進事業	100	100	0	
⑤	地域包括ケア推進事業	121	121	0	
	細事業合計	1,658	899	759	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当	係
	齋藤 有香	深野 昭江	深野 昭江	

事業区課	保土ヶ谷区 区	こども家庭支援 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育 成費	1	目		
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	
事業名称	保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	355	0	0	0		355
令和3年度	615	0	0	0		615
増△減	△ 260	0	0	0	0	△ 260

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	789	689	689	355	355	355
市債+一般財源	789	689	689	355	355	355
決 算 事業費	544	435	118			
市債+一般財源	544	435	118			

事業概要	障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援します。							
事業開始年度	平成14年度							
根拠法令・方針決裁等	障害者総合支援法、児童福祉法、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	区政運営方針 誰もが健やかに暮らせる環境づくり							
事業目的・効果 (必要性)	18歳未満の障害者手帳(精神を除く)所持者数は微減傾向にあるものの、障害状態像は多様化しています。事業開始時と比べて放課後等デイサービスなどの公的サービスは充実し、親のレスパイトの機会は増えたものの、障害児及びその家族と地域との関係は希薄になりがちです。障害児及びその家族の生活は、地域生活に根ざしており、身近なところでの障害児の理解が重要であり、余暇活動を通じて障害児及び親同士のつながり、地域活動ホーム・ケアプラザ等の地域の関係機関との顔の見える関係づくりを支援していくことが大切です。対象者への事業の周知について、学校、障害サービス事業所、個別対応を通し周知に努めます。障害状態像によらず、希望者が参加できる受け入れ態勢を整え、幅広く参加者を募ります。余暇支援を通じ、地域との顔の見える関係を構築します。							
根拠・データ等	横浜市統計書(身体障害者手帳交付状況、知的障害者「愛の手帳」(療育手帳)交付状況) 手帳所持者数(身障/知的) 令和2年度末:785人(127/658) 令和元年度末:805人(142/663) 平成30年度末:806人(148/658)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
長期休み事業 実施回数	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	回	実績	1	0				
休日事業 実施回数	単位	目標	3	3	2	2	2	2
	回	実績	0	0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	区自立支援協議会こども部会での検討(6月、9月) 長期休み期間事業(6月~7月広報・HP掲載チラシ作成、8月イベント実施、1月~2月広報・HP掲載チラシ作成、3月イベント実施) 休日事業(7月~8月HP掲載チラシ作成、9月イベント実施、10月~11月HP掲載チラシ作成、12月イベント実施)							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	長期休み期間事業・休日事業	355	615	▲ 260	事業見直しにより一部事業終了による減
	細事業合計		355	615	▲ 260	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大吉 進	田中 貴子	こども家庭 田中 貴子

事業区課	保土ケ谷 区	高齢・障害支援 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	障害者地域支えあい連携推進事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,668	0	0	0		1,668
令和3年度	1,301	0	0	0		1,301
増△減	367	0	0	0	0	367

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	817	1,017	987	1,600	1,800	1,600
市債+一般財源	817	1,017	987	1,600	1,800	1,600
決 算 事業費	649	782	962			
市債+一般財源	649	782	962			

事業概要	障害者支援関係機関が課題解決に向けて話し合う保土ケ谷区地域自立支援協議会の円滑な運営及び活動を支援します。また、協議会の部会活動として実施している自主製品販売の販路確保を支援するとともに、精神部会においては「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の推進に向け、訪問支援（アウトリーチ）を充実していきます。							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等	障害者総合支援法、障害者優先調達法、精神保健福祉法、横浜市障害者地域自立支援協議会設置運営要綱、横浜市障害者区域自立支援協議会設置要領、保土ケ谷区障害者地域支えあい連携推進事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策：つながり・支えあいの推進							
事業目的・効果（必要性）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害児・者が住み慣れた地域で安心して生活をするために、支援機関にとっては「一人ひとりの障害児・者に合った支援について話し合う場」「支援の質を向上させるための人材育成」が必要です。</li> <li>・ 障害福祉事業所における障害者の社会参加の機会拡大や賃向上、自主製品の販路確保が求められています。</li> <li>・ 8050問題や引きこもりなど複雑な課題を抱えた世帯を支援するため、支援機関が多職種チームを組んで精神科医療の未治療者や治療中断者等に対する受診受療援助を強化する必要があります。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保土ケ谷区 身体障害者手帳所持者数【各年度末】            &lt;実績推移&gt;元年度6,049人、2年度5,963人、3年度5,900人（見込）、4年度5,850人（見込）</li> <li>・ 保土ケ谷区 愛の手帳所持者数【各年度末】            &lt;実績推移&gt;元年度1,972人、2年度2,021人、3年度2,070人（見込）、4年度2,120人（見込）</li> <li>・ 保土ケ谷区 精神障害者保健福祉手帳所持者数【各年度末】            &lt;実績推移&gt;元年度2,349人、2年度2,479人、3年度2,600人（見込）、4年度2,720人（見込）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
全体会	単位	目標	1	1	1	1	1	1
	回	実績	1	1				
事務局会議	単位	目標	5	5	5	6	6	6
	回	実績	5	4				
各部会	単位	目標	80	60	40	50	60	60
	回	実績	95	40				
事業スケジュール	平成30年度～令和元年度：区役所の自主製品販売ブース（スマイルガーデンホドガヤ）の大幅リニューアル 令和3年度：自立支援協議会（精神部会）による訪問支援（アウトリーチ）事業の試行実施開始 令和4年度：訪問支援（アウトリーチ）事業の本格実施開始							

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称		4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	連携推進事業	1,396	1,029	367	アウトリーチ支援事業の 通年化による増
	②	自主製品販売促進事業	272	272	0	
細事業合計			1,668	1,301	367	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	齊藤 有香	岩垂 英明	岩垂 英明

事業区課	保土ヶ谷 区	高齢・障害支援 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般 会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	ほ도가や花のおもてなし事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,100	0	0	0		1,100
令和3年度	1,030	0	0	0		1,030
増△減	70	0	0	0	0	70

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	0	0	812	1,100	1,100	1,100
市債+一般財源	0	0	812	1,100	1,100	1,100
決 算 事業費	0	0	630			
市債+一般財源	0	0	630			

事業概要	障害のある方の社会参加の機会を増やすとともに、区庁舎の窓口環境の向上を目的に、障害福祉事業所と連携してフラワーアレンジメントを作製し、区役所内の窓口に展示します。							
事業開始年度	令和2年度							
根拠法令・方針決裁等	障害者総合支援法、障害者優先調達推進法、ほ도가や花憲章							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標達成に向けた施策：つながり・支えあいの推進							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある方が地域でいきいきと生活するためには、障害のある方の社会参加の機会を更に拡大し、地域とのつながりを一層深める必要があります。</li> <li>・障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター等（以下「事業所等」という）における受注作業拡大及び工賃の向上を図る必要があります。</li> <li>・来庁者の満足度向上を図るため、区役所の窓口を明るく華やかにすることが求められます。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保土ヶ谷区 身体障害者手帳所持者数【各年度末】            &lt;実績推移&gt;元年度6,049人、2年度5,963人、3年度5,900人（見込）、4年度5,850人（見込）</li> <li>・保土ヶ谷区 愛の手帳所持者数【各年度末】            &lt;実績推移&gt;元年度1,972人、2年度2,021人、3年度2,070人（見込）、4年度2,120人（見込）</li> <li>・保土ヶ谷区 精神障害者保健福祉手帳所持者数【各年度末】            &lt;実績推移&gt;元年度2,349人、2年度2,479人、3年度2,600人（見込）、4年度2,720人（見込）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
花の作製・展示	単位	目標	0	40	48	48	48	48
	回	実績	0	30				
展示場所	単位	目標	0	10	12	13	13	13
	箇所	実績	0	10				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和2年度 事業開始（7課10箇所） 令和3年度 設置箇所拡大（9課12箇所） 令和4年度 設置箇所拡大（9課13箇所）							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ほ도가や花のおもてなし事業		1,100	1,030	70
	細事業合計		1,100	1,030	70	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	齊藤 有香	岩垂 英明	係 明田川 あきな

事業区課	保土ヶ谷 区	生活衛生 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般 会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	暮らしの衛生サポート事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	925	0	0	0		925
令和3年度	988	0	0	0		988
増△減	△ 63	0	0	0	0	△ 63

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	1,170	1,066	1,357	925	925	925
決 算	1,170	1,066	977	925	925	925
市債+一般財源	1,170	1,066	977			
市債+一般財源	1,170	1,066	977			

事業概要	生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすく啓発し、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援します。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	食品衛生法、狂犬病予防法、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例、横浜市スズメバチ等対策実施要領、横浜市居住衛生対策業務実施要領、薬機法、横浜市防災計画							
運営方針等との関連	令和3年度保土ヶ谷区運営方針 目標に向けた施策「暮らしの安全・安心の確保」							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店を原因とする食中毒は発生件数全体の約6割を占めています。近年はテイクアウトやデリバリーを始める店舗も増えているため、飲食店への衛生指導を通じて食中毒の発生を防止します。また、営業者への改正食品衛生法の周知やHACCP導入支援を通じ、自主衛生管理を推進します。</li> <li>・みんなの食堂やイベントにおける衛生支援を通じ、地域での安全・安心な食事の提供を支援します。</li> <li>・区民に食中毒予防やペットの適正飼育、ハチの対策等の知識や情報を、様々な広報ツールを利用して広く啓発します。</li> <li>・近年災害が激甚化していることから、地域防災拠点におけるペット同行避難の体制づくりが急務です。拠点運営委員及びペットの飼い主に対してペットの一時避難場所の必要性周知や日頃からの備えについて引続き啓発することが重要です。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市の食中毒発生件数（保土ヶ谷区件数）            &lt;実績推移&gt;令和元年50件（0）、令和2年37件（1）、令和3年40件（0）（見込み）、令和4年40件（0）（見込み）</li> <li>・区内みんなの食堂件数            &lt;実績推移&gt;令和元年度10件、令和2年度10件、令和3年度12件（見込み）、令和4年度12件（見込み）</li> <li>・区内犬の登録数            &lt;実績推移&gt;令和元年度9,460件、令和2年度9,655件、令和3年度9,550件（見込み）、令和4年度9,550件（見込み）            ※猫の飼育件数も上記と同程度と推測</li> <li>・ねずみ衛生害虫相談件数（調査件数/相談件数）            &lt;実績推移&gt;令和元年度20/447件、令和2年度25/404件、令和3年度25/450件（見込み）、令和4年度25/450件（見込み）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区民向け講習会	単位	目標	500	200	200	300	300	300
	人	実績	611	107				
食品衛生責任者講習会	単位	目標	300	300	300	300	300	300
	人	実績	292	212				
広報よこはま掲載	単位	目標	8	8	8	8	8	8
	回	実績	8	8				
ペット一時飼育場所開設キット配布	単位	目標	2	5	5	5	5	0
	個	実績	2	4				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度：地域行事における衛生管理リーフレット修正・増刷（1,000部）、ペット一時飼育場所開設キットの初版配布、地域防災拠点に向けたペット同行避難の出張啓発説明</li> <li>・令和2年度：みんなの食堂向け衛生管理手引書の作成（10か所）、食中毒予防3原則に関する啓発品（付箋）の作成（900個）、ペット一時飼育場所開設キットの調整及び配布</li> <li>・令和3年度：食中毒予防・手洗い啓発品の作成、ペット一時飼育場所開設キットの調整及び配布</li> <li>・令和4年度：食中毒予防・手洗い啓発品の作成、ペット一時飼育場所開設キットの調整及び配布</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 暮らしの衛生サポート事業	925	988	▲ 63	実績による啓発物品作成見直しに伴う減
細事業合計		925	988	▲ 63	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	村上哲治	高橋 直矢	高橋 直矢

事業区課	保土ケ谷 区	福祉保健 課			新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	保土ケ谷ほっとなまちづくり推進事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	1,193	0	0	0			1,193
令和3年度	1,300	0	0	0			1,300
増△減	△ 107	0	0	0	0	0	△ 107

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	1,303	2,089	923	1,193	1,193	1,193
市債+一般財源	1,303	2,089	923	1,193	1,193	1,193
決 算 事業費	760	1,824	524			
市債+一般財源	760	1,824	524			

事業概要	第4期保土ケ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：令和3年度から令和7年度まで）を推進します。また、庁内で連携するとともに、各地域が抱える様々な課題に対し主体的に取組を進められるよう、地区支援チームが支援します。							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等	社会福祉法第107条、保土ケ谷区地域福祉保健計画							
運営方針等との関連	令和3年度 保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支えあいの推進」							

事業目的・効果 (必要性)	<p>【地域の課題等】</p> <p>地域を取り巻く社会状況が大きく変化中、地域のつながりが希薄化し、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、不安感や孤立感を抱える地域住民が増加中、既存の公的サービス等だけでは解決できない様々な課題が生じています。こうした課題の中には、身近な地域だからこそ見える課題もあり、「地域の課題は地域で解決していく」ことが求められています。</p> <p>そのためには、地域の課題や取組について、地域が主体となって検討を深めていくことが重要であり、検討の場の支援を行う地区支援チームがスキルを向上させることが不可欠です。</p> <p>【現況把握】</p> <p>横浜市民意識調査の「隣近所とのつき合い方」を伺う項目において、「顔もよく知らない」との回答は、1988年からおよそ30年で約10%増加し、14%前後（区内は11.5%）で推移しています。また、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」人は、逆に7%減少し、5%前後（区内は1.4%）で推移しています。一方、「隣近所とのつき合い方に対する感じ方」を伺う項目では、市域・区域共に「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」との回答が70%を超える中、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」という人も10%程度います。</p> <p>また、区民アンケートの「近所とのつながり」を伺う項目において、「つながりはない」との回答は、6%前後で推移しています。地域とのつながりが希薄である状況は続いており、「つながり・支えあいの推進」が求められます。</p>							
------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<p>【横浜市民意識調査より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所との普段のつき合い方→回答項目：顔もよく知らない [市全域]5.1%（1988年）、9.5%（2007年）、14.0%（2018年） [区 内]（1988、2007年データ無し）、11.5%（2018年）</li> <li>・隣近所との普段のつき合い方→回答項目：困ったとき、相談したり助け合ったりする [市全域]11.3%（1988年）、7.6%（2007年）、3.8%（2018年） [区 内]（1988、2007年データ無し）、1.4%（2018年）</li> <li>・隣近所とのつき合いをどのように感じているか→回答項目：人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい [市全域]13.3%（1994年）、16.2%（2007年）、11.9%（2018年） [区 内]（1988、2007年データ無し）、14.9%（2018年）</li> </ul> <p>【区民アンケートより（区内居住の18歳以上の男女4000人より無作為抽出）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所とのつながりについて→回答項目：つながりはない [区 内]6.0%（2014年）、6.1%（2019年）</li> </ul>							
---------	---	--	--	--	--	--	--	--

事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
各地区の取組支援 (地区の会合への出席等)	単位	目標	250	250	250	250	250	250
	(回)	実績	244	185				

事業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地区別計画を推進するため、地区支援チームが地域の主体的な取組を支援し、希望地区にアドバイザーを派遣します。</li> <li>2. 「ほっとなまちづくり推進会議」を2回（6月・2月）開催し、第4期計画の推進について意見交換を行います。</li> <li>3. 地区支援チームの情報共有とスキルアップを図るため、会議・研修を実施します。 実施回数：リーダー会議 2回（9月・1月）、新任リーダー・チームメンバー研修 各2回（4月）、チームメンバー研修 2回（9月）</li> <li>4. 区民の福祉に対する理解を深めるため、ほっとなまちづくりフォーラムを開催します。（12月）</li> <li>5. ほっとなまちづくりの周知と第4期計画の推進を目的に、区の地域資源を活用したPR事業を展開します。（7～10月）</li> </ol>							
----------	---	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	保土ケ谷ほっとなまちづくり推進事業		1,193	1,300	▲ 107
細事業合計			1,193	1,300	▲ 107	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当
	檜崎 佳代子	藤村 綾香	田中 基文



事業区課	保土ケ谷 区	福祉保健 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	-
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	地域見守り推進事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,165	0	0	0		2,165
令和3年度	1,250	0	0	0		1,250
増△減	915	0	0	0	0	915

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	1,277	1,274	1,268	1,300	1,300	1,300
算 市債+一般財源	1,277	1,274	1,268	1,300	1,300	1,300
決 事業費	1,195	1,076	1,308			
算 市債+一般財源	1,195	1,076	1,308			

**事業概要**  
ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守ります。また、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行います。

**事業開始年度** 平成15年度

**根拠法令・方針決裁等** 保土ケ谷区あんしん訪問事業実施要綱、保土ケ谷区あんしん訪問事業補助金交付要綱、保土ケ谷区民生委員・児童委員協力員要綱、民生委

**運営方針等との関連** 令和3年度保土ケ谷区運営方針 目標達成に向けた施策「つながり・支えあいの推進」

**事業目的・効果（必要性）**  
民生委員・児童委員（以下、民生委員といいます。）は、地域住民の中から、地域の推薦を受け、厚生労働大臣により委嘱された非常勤特別職公務員で、地域の高齢や養育不安を抱える世帯の見守り、高齢者の家族などからの相談受付、通院や介護ニーズ等に対する専門機関へのつなぎなど、地域住民の生活を支える重要な役割を担っています。  
しかし、高齢化率の上昇、ひとり暮らし高齢者数や児童虐待件数の増加に伴い、民生委員の見守りや相談支援が必要な世帯が増加、内容も、ごみ屋敷問題や生活困窮者支援、「ダブルケア」や「8050問題」など多様化・複合化し、負担が増えています。また、民生委員・児童委員には年齢要件があり、その範囲にある方の多くが、現役で就労していたり、育児・介護などがあるため、自治会・町内会は候補者推薦に苦慮し、欠員が生じるケースが増えています。  
一方、高齢者のひとり暮らし世帯や高齢者のみ世帯の増加や、地域におけるコミュニティ意識の希薄化といった社会背景から、高齢者の安否確認や状況把握が困難な状況になっています。高齢者が地域や社会から孤立しないよう、地域における主体的な見守り活動の充実が求められています。  
あんしん訪問事業では、高齢者が孤立せず地域で安心して暮らせるよう、民生委員に限らない様々な担い手による継続的で緩やかな見守りを実施します。  
民生委員・児童委員協力員制度では、民生委員の物理的・心理的負担を軽減するとともに、OBの知識・経験の継承や新たな担い手の発掘といった効果が生まれます。

**根拠・データ等**  
【保土ケ谷区の高齢者の現況等】  
1 保土ケ谷区の高齢化率（65歳以上）令和3年4月時点 26.4%  
2 保土ケ谷区の75歳以上ひとり暮らし高齢者数 令和3年4月時点 9,516人（前年度比166人増）  
3 保土ケ谷区の民生委員・児童委員充足率 令和3年7月時点 91.7%（前年度比 2.0%増）

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
あんしん訪問 訪問世帯数	単位	目標	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
	世帯	実績	23,258	17,956					
協力員数	単位	目標	25	35	35	40	40	40	40
	人	実績	31	33					
	単位	目標							
		実績							

**事業スケジュール**  
通年：あんしん訪問の実施、協力員による民生委員・児童委員の補佐  
4月：QA集の作成  
5月：一斉改選に向けた自治会町内会長への制度周知、あんしん訪問補助金申請→7月：補助金交付  
3月：あんしん訪問区研修会、区連絡会の開催  
随時：あんしん訪問地区連絡会・研修会、協力員の推薦、委嘱、研修

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	あんしん訪問事業	1,094	1,130	▲ 36	ツール在庫活用に伴う減
	②	民生委員・児童委員協力員	873	21	852	区取組としたことによる増
	③	民生委員・児童委員活動の広報・啓発	198	99	99	QA集作成に伴う増
細事業合計			2,165	1,250	915	

本資料は、公正・適正に作成しました。  
課長 榎崎 佳代子 係長 近藤 健志 運営企画係 児玉 亜希子